NEDO水素・アンモニア成果報告会2025
発表No.P3-36

水素社会構築技術開発事業/地域水素利活用技術開発/地域コミュニティのグリーン水素を利活用した水素混合LPガス事業

団体名：岩谷産業株式会社、相馬ガス株式会社、株式会社グリージョン
発表日：2025年7月17日

2025年度
第3回業務委員会
資料№10

①コンセプト

LPガス＋水素 ▶ 水素需要↗ CO2削減↘ 早期の社会実装

1）民生用LPガス分野における水素利活用、CO2削減
→既存の導管・ガス機器等に安全に使用できる範囲＊1で、LPガスに水素を混合。民生向けに供給。
コミュニティーガス事業＊2が主なターゲット。

2）早期の社会実装・実用化
→導管、ガス機器等の交換を必要最小限とすることで、早期の社会実装・実用化を図る。

＊1：NEDO調査事業「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／水素混合LPガスの供給利用に関する調査」にて水素混合時の安全性評価等を実施。（実施期間：2021年12月～2023年3月）
＊2：コミュニティーガス事業とは、簡易なガス発生設備でガスを発生させ、一の団地（供給地点群）内において70戸（供給地点）以上のガス需要家に対し導管でガスを供給する小売事業 を指す。

②目的、目標

- **小規模（80戸）での水素混合LPガス事業の実証**
  →安定したガス供給、安全点検、ガスメーターでの計量／料金徴収等
- **事業採算性改善に向けた課題抽出**
- **水素混合率向上に関する各種評価、法規制対応・課題整理**

▼

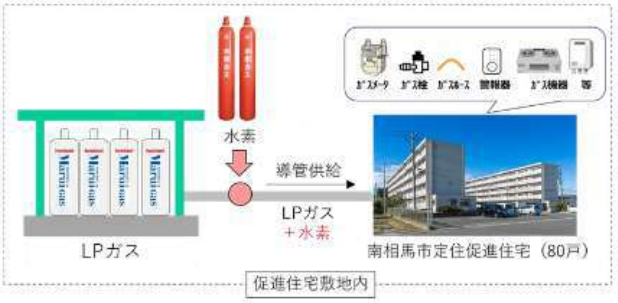
対応策の検討、事業拡大案の作成、関係各所との協議

▼

国内における水素混合LPガス事業の拡大

③福島県南相馬市定住促進住宅での実証事業概要

事業イメージ



実施体制

①岩谷産業株式会社
・水素・LPガス混合設備の製作、設備運営の最適化
・水素混合率増加に向けたガス機器等の改良検討
・ガスメーター器差評価 等

②株式会社グリージョン
・事業拡大、採算性向上案の作成 等

③相馬ガス株式会社
・水素混合LPガス事業の運営・管理
・ガス機器・接続具等の安全性検証

【地域コミュニティにおける実証体制】

Iwatani / 相馬ガス / GREGION GROUP / 南相馬市 MINAMISOMA（実証フィールド（促進住宅）の提供） / FH2R FUKUSHIMA HYDROGEN ENERGY RESEARCH FIELD（FH2Rの水素を利用）

▼

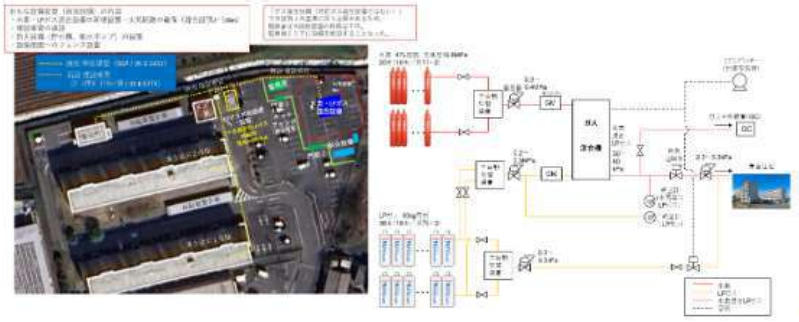
地域コミュニティでのグリーン水素利活用モデルの実証

実施場所　：南相馬市定住促進住宅
戸数　　：80戸（ガス契約戸数52戸＊3）
　　＊3：2025年6月現在
ガス事業者：相馬ガス株式会社

LPガス消費量：約10t/年（2024年実績）
水素混合開始：2025年8月下旬頃を予定
水素混合率：上限10%（15%、20%への増加を検討）
水素消費量：50kg/年≒560m³/年（水素10%時）

④実証事業開始に向けた取組み

水素・LPガス混合設備　配置案・プロセスフロー



FH2Rでの水素充填

水素容器が脱着可能な簡易カードルを使用



ガス機器、ガスメーター等

水素混合率増加に向けた改良、評価



水素混合率上限10%→15%or20%を計画

実証事業でのガスメーター器差評価



【器差評価】
石油ガス（LPガス）用と都市ガス用を直列接続＊4

＊4：特定計量器検定検査規則において、総発熱量90MJ/m3以上：石油ガス用
90MJ/m3未満：都市ガス用 と区分されている。
ガス機器、ガスメーター等は事前の安全性を確認したうえで使用します。

監督官庁との調整

➡ 設備仕様・工事計画・使用前検査等（水素・LPガス混合設備）

⑤事業拡大に向けた検討

国内全域での事業化に向けた課題整理・調査


南相馬市定住促進住宅


全国のコミュニティーガスエリア



全国で使用されているこれらの安全性調査を進める。

新規エリアでの調査・検討





⑥ガス組成・物性値

		LPG＊5	水素混合LPガス		
ガス組成	LPG＊5	100%	90%	85%	80%
	H_2	0%	10%	15%	20%
総発熱量(MJ/m³)		100.46	91.68	87.29	82.91
比重		1.55	1.40	1.32	1.25
WI ウォッベ指数		80.8	77.5	75.9	74.2
MCP 最大燃焼速度		41.0	42.1	42.7	43.4
CO2削減率＊6		基準	1.4%	2.1%	3.0%

＊5：促進住宅の総発熱量を基準 ガス組成参考値（エタン：3.1%、プロパン：96.6%、nブタン：0.3%）
＊6：発熱量100.46MJにおけるCO2排出量から算出

連絡先：岩谷産業株式会社　宮代　toshio-miyashiro@iwatani.co.jp
株式会社グリージョン　渋佐　shibusa.t@somagas.jp

2025年9月1日

係数見直しについて

2025年度
第3回業務委員会
資料№11

◎	新たな考え方で改訂案を作成したもの。
○	前回どおりの方法で改訂案を作成するもの。
△	貴室にて算定していただくもの。
×	改定を要しないと考える項目。

●基本的な考え方

標準係数の改訂は従来3年ごとに行われているが、平成25年4月の改訂の次は4年後の平成29(2017)年7月であった
令和2(2020)年度改定の改定にあたり、協会から現状維持をお願いしたところ、最低限の改定は行いたいとのこと。
算定方法を大幅に簡略化した上で改訂案を作成、了承された。
「標準係数の改定は3年程度を目途に」との委員会発言もあることも考慮し、前回同様の改訂方法を採用することを前提に、改訂案を作成する。

●項目毎の改訂の要否と理由

（一社）日本コミュニティーガス協会

NO.	項目	内容		R8改訂	理由	備考	平成29年	令和2年	令和5年	伸び率	令和8年	伸び率
1	**換算係数**	原料費が1m³あたり100円変動した場合の、基準単位料金1m³あたり変動させるための係数	当局が設定	×	原料費調整制度で利用する、原料価格の1立方メートル当たりガス料金への換算係数。 所在地、使用原料、公営・私営により係数化され、当局により設定された。 ガスの定数的な数値であり、また指定旧供給地点ガス小売供給約款の変更が必要となるため、 改訂しないことが望まれる。	その他地区、い号、私営	➡ 0.210	➡ 0.210	➡ 0.210		➡ 0.210	
2	**ガス販売量**	ガスの月平均販売量の標準値		○	1供給地点あたりの販売量は、増加は料金の引き下げ方向に、減少は料金の引上げ方向に反映される。 （現行算定方法）　平成28年(改定年−4年)4月～平成31年(改定年−1年)3月の生産動態統計より 総販売量　÷　延調定数 （今回の対象期間）　2022年4月～2025年3月	東京(㎥／軒・月)	↓ 14.0	↓ 13.1	↓ **12.9**	−1.5%	↓ **11.3**	−12.4%
						全国平均	↓ 11.1	↓ 10.5	↓ **10.2**	−3.1%	↓ **9.3**	−8.9%
3	**有形固定資産投資額**	土地の標準所要面積		×	今後新設される経過措置団地はなく、また団地モデルも変更しないため、改定する必要はない。	3t未満、50Kg容器、離隔方向1方向(㎡)	➡ 127	➡ 127	➡ 127		➡ 127	
4		建物及び償却資産投資額の標準投資額	建物・構築物・機械装置・メーター・備品	○	積算基礎となる団地のモデル・配管図は変更せず、積算資料等を参考に 資材価格、工賃等の変化を反映させるため、必要最低限の見直しを行う。	1供給地点当たりの投資額 50Kg容器、気化装置使用	⇧ 59,130	⇧ 61,490	⇧ 67,320	9.5%	⇧ **75,940**	12.8%
			導管	○		PE管＜単独住宅＞ （円／地点）	⇧ 117,540	⇧ 123,680	⇧ **133,910**	8.3%	⇧ **154,530**	15.4%
5		車輌の標準投資額		△	積算は当局で行っている。協会は車両購入実績のある事業者（業務委員or料金WGメンバー）より、データを収集し、貴室に提供する。なお、リース車採用事業者が多く前回同様とするか？	70地点以上～250地点まで （円／地点）	⇧ 8,560	⇧ 8,910	⇧ 13,950	56.6%	➡	
6	**原料費**	産気率（昭和45年　石油業務課による積算）		×	当局により設定された。物理学的な係数であり、見直しは不要と考える。	い号・本州大部分	➡ 0.488	➡ 0.488	➡ 0.488		➡ 0.488	
7	**労務費**	労務費の標準値		○	人件費は社会情勢の変化に伴い、ある程度の変動があるため、適切に標準係数に反映させる必要がある。過去標準係数の改訂毎に見直しており、今後もフォローしていくことが必要と考える。 ただし、平成30年より「賃金構造統計調査」「毎月勤労統計要覧」はNETで入手している。 また、従業員の男女構成比については、過去の調査の数値を使用する。 経団連の「福利厚生費調査」が2019年度を」最後に取りやめとなった為、財政金融統計で発表されている「法人企業統計調査」の福利厚生費（全産業）の3年間分を採用する。	東京都（千円／年）	⇧ 7,160	⇧ 7,398	↓ **7,104**	−4.0%	⇧ **7,784**	9.6%
						全国（千円／年）	⇧ 5,517	⇧ 5,656	⇧ **5,698**	0.7%	⇧ **5,948**	4.4%
8		適正な人員数		×	簡易ガス団地における業務内容に大きな変化はなく改定は不要。 次回の改定では、DX推進の効果を見て、検針にかかる工数を見直す必要が生ずる可能性あり。	PE管（人／1地点・1日当たり）	➡ 0.0031	➡ 0.0031	➡ 0.0031		➡ 0.0031	
9	**修繕費**	適正な修繕費率		×	建物及び償却資産の投資に関して修繕費を算定するための係数 当初(1970)は小規模導管事業の平均値3%を採用。 1979年改定の際、実態調査を基に4年ごとに段階的に率を引き上げることとした。 1999年改正時には1995年の収支計算報告書、資産額報告書による実態調査に基づき改定。 現在の1年ごとに率を引き上げる方式となり、8年目以降は5.0%から4.3%に引き下げられた。 料金算定時の経年により修繕費が確定するので、経年ごとに修繕費率を変動させることに意味はなく、平均的な修繕費率とし3%とした。	a 経過年数1年の場合 b 2年から7年の場合 c 8年以降　の場合 令和5年以降は一律3%	a 1.2% b 1.2%×1.2 c 4.3%			**3.0%**		**3.0%**	
10	**租税課金**	道路占用料の額		×	「道路法施行令の一部を改正する政令」等により道路占有料は都度改定されている。 また、これに伴い、道路占有料を定める都道府県条例も改定されていると思われる。 これらを基礎として改定することも考えられるが、標準化が困難であり、 膨大な作業を要する割には影響額は少なく、従来方式での係数を採用したい。	単独住宅（円／地点）　甲地 乙地 丙地	➡ 700 580 440	➡ 700 580 440	➡ 700 580 440		➡ 700 580 440	
11	**減価償却費**	償却率（車輌以外）		×	平均的な減価償却費の比率を表す数値。	PE管の償却率	➡ 0.077	➡ 0.077	➡ 0.077	0.0%	➡ 0.077	
12	〃	償却率（車輌）		×	償却率は法定耐用年数5年で変わらず、変更の必要は無い。	70地点以上～250地点まで	➡ 0.20	➡ 0.20	➡ 0.20	0.0%	➡ 0.20	
13	**その他の経費**	適正な経費率		×	コミュニティーガス事業の販売費・一般管理費を算出するため、 原料費、労務費、修繕費、固定資産税、道路占有料及び減価償却費の合計額に乗ずる数値である。 当初設定　15%、1973年　17.65%、1979年　15%と改定されたが、その後改訂されていない。 コミュニティーガス事業の場合、売上高と販管費の比率に大きな変動はなく、改定は不要と考える。	適正な経費率	➡ 15.0%	➡ 15.0%	➡ 15.0%	0.0%	➡ 15.0%	
14	**事業報酬**	事業報酬率	毎年度改定	△	当局により毎年度改定されている。							
15	**導管配分比率**	供給需要原価と需要家原価		○	総原価を機能別原価に配分する際の比率。 修繕費、固定資産税、減価償却費(車輌分を除く)、事業報酬額、法人税を供給需要原価（本支管分）と需要家原価(供給管分)に配分するために用いる。 導管配分比率はモデル標準団地へのPE管敷設工事費を積算し、本支管分と供給管分の経費比率により算定している。 導管の標準係数見直しにより、自動的に改定される。	供給需要原価（本支管分）	↓ 0.835	↓ 0.832	⇧ 0.834	0.2%	↓ 0.833	−0.1%
						需要家原価(供給管分)	⇧ 0.165	⇧ 0.168	↓ 0.166	−1.2%	⇧ 0.167	0.6%
16	**労務費及び車両配分比率**	供給需要原価と需要家原価		×	総原価を機能別原価に配分する際の比率。 労務費、修繕費、固定資産税、減価償却費(車領分)、事業報酬額、法人税を供給需要原価（設備の維持管理費用）と需要家原価（需要家に対応する費用）に配分するために用いる。 労働歩掛の変更をしないため、本係数の変更も不要と考える。	供給需要原価	➡ 0.4059	➡ 0.4059	➡ 0.4059		➡ 0.4059	
						需要家原価	➡ 0.5941	➡ 0.5941	➡ 0.5941		➡ 0.5941	
17	**軽減係数**	地方税法に定める固定資産税の課税標準の額の軽減に係るもの		×	地方税法第349条の3第3項の規定によるガス事業の用に供する一部の償却資産に対する固定資産税の特例措置を数値化したもの。 指定旧供給地点に対する当該税制は変更されていないため見直しは不要。 （課税標準は、当該償却資産に対して新たに固定資産税が課されることとなった年度から五年度分の固定資産税については当該償却資産の価格の三分の一の額とし、その後五年度分の固定資産税については当該償却資産の価格の三分の二の額とする。）	軽減係数	➡ 0.46	➡ 0.46	➡ 0.46		➡ 0.46	

＊赤数字は、変動の可能性があるもの

2025年度
第3回業務委員会
資料№12-1

エコジョーズ普及推進WG
コラボ打合せ

2025年7月25日

<テーマ>

- 説明会に関する棚卸
- 今年度の活動と目標

エコジョーズ普及推進WG 体制

WG体制

＜事務局＞
・日本ガス体エネルギー普及促進協議会（コラボ）
・ガス石油機器工業会

＜オブザーバー＞
・ベターリビング

エコジョーズ普及推進WG

概要	各SWGの取組進捗状況の確認
出席者	構成団体の代表者＋各SWGの主担当者

説明会・PRSWG	
取組	・賃貸集合住宅へのE導入促進に繋がる説明会や広告掲載等
役割分担	主：コラボ 副：JGKA

ドレン対応SWG	
取組	・ドレン排水雨水処理の認可
役割分担	主：JGA 副：JGKA

施工SWG	
取組	・「上手に設置エコジョーズ」作成
役割分担	主：JGKA 副：コラボ

各SWGでの取り組み

	取組	対象	取組概要
説明会・PR関連	説明会の実施	賃貸オーナー、集合住宅管理組合・会社	全国賃貸住宅経営者協会連合会主催「国交省意見交換会」での情報提供 日本賃貸住宅管理協会主催イベントでの周知
	PR資料の棚卸・整理・活用	賃貸オーナー・集合住宅管理組合・会社・一般消費者	既存の冊子やPRツールの改訂・再利用を検討 オーナー・管理会社向け冊子への広告掲載
ドレン関連	ドレン排水雨水処理の認可	自治体	自治体へドレン排水の排水方法のヒアリング、雨水処理の認可に向けた働きかけ、雨水処理取扱いの周知
施工関連	ドレン排水施工	施工会社、メンテ会社	施工教育資料（マニュアル、チラシ等）作成

10/24 第7回エコジョーズ普及推進WG 資料再掲

これまでの活動と課題―説明会SWG

10/24　第7回エコジョーズ普及推進WG資料再掲

- 本年度は賃貸集合住宅における給湯器の購入意思決定者である賃貸オーナーや管理会社（管理組合）へアプローチしたく、関連する業界団体に対し、会員への情報提供の機会を得られるよう働きかけた。
- その結果、業界団体のご担当者レベルでは補助事業に関心を持っていただき、周知への協力を得たが、EJへの切替によるガス代節約のメリットが受けられない賃貸オーナーや管理会社の関心は高まらなかった。
- 来年度は引き続き日管協・ちんたい協会へのアプローチを行うと共に、給湯器を売る側であるガス事業者等へもアプローチを行いたいと考えている。

	ターゲット	活動
今年度の活動	・賃貸オーナー、管理会社 ※直接的には関連する業界団体（日管協、ちんたい協会、全管協）へアプローチ	・日管協総会、日管協フォーラムへの出展 ・日管協メルマガを通じた情報提供 ・ちんたい協会　国交省意見交換会での情報提供

	成果	課題
活動結果	・当初、業界団体のご担当も**補助事業のメリットや意義を認識いただいておらず**、関心も低かったが、**会員に周知が必要な情報だと認識いただくことができた**。（補助事業を周知する機会をいただくと共に、日管協・ちんたい協会からセミナーを企画する地方支部に、我々を補助事業に関するセミナーができる団体として紹介いただいた）	・EJへの切替により直接のメリットが受けられない賃貸オーナー・管理組合からは、「従来型機器より安くなるのならば導入を検討する」「EJをほとんど扱っておらずよく知らない」との声をいただくなど、**大幅な関心向上には至らなかった**。（セミナーの依頼は無し） ・本格的な活動開始が5月以降であり、**補助事業立ち上がり時の周知が不足**した。

	従来からの活動継続	新たな活動
来年度活動方針	・少なくともご担当者には補助事業のメリットや意義を認識していただいたため、業界団体を通じた情報提供、セミナー等**本年度同様の取組みを継続**。 ・**補助金立ち上がり期における周知**を行う。	・給湯器を売る主体である**ガス事業者や給湯器卸事業者等にアプローチ**を行い、需要家にEJ切替を促す意識の醸成を図る。

次年度の活動内容（案）について― UR･ドレン対応SWG

- **次年度は、ドレン対応における今年度進行中のタスクを中心に取り組みを実施**してはどうか。
- 今年度からの継続となる主なタスクとしては、**各自治体のドレン排水の取扱い対して「現状調査」「見直しの働きかけ」**があり、METIから情報共有頂ける（想定）アンケート結果をもとに、**①働きかけが必要な自治体の選定。②働きかけを行う役割分担。③各自治体へ働きかけを実施**してはどうか
- また、新規のタスクとしては、**各自治体へ働きかけを行う事業者等へのサポートを目的として勉強会**を実施してはどうか。
- また、**デコ活との協力**については環境省と意見交換を予定しており、どの様な取組を行うか**要調整**。

○次年度の主なタスクと活動内容

	主なタスク	具体的な活動内容
継続	各自治体によるドレン排水取扱いの現状調査	・METIによる各自治体へのアンケート結果から、雨水処理の認可への働きかけが必要な自治体の選定
継続	各自治体へドレン排水取扱い見直しの働きかけ	・各自治体への働きかけを行う役割分担の整理 ・役割分担をもとに、都市ガス会社、ガス機器メーカー関係者、LPガス会社等による各自治体へドレン排水取扱い見直しの働きかけのお願い ・各事業者へのサポート
新規	各自治体へドレン排水取扱い見直しの働きかけを行う事業者等に対する説明会	・各自治体へ働きかけを行って頂くにあたり、必要な知識についての勉強会を実施
(新規)	デコ活との協力	・上記3タスクにおけるデコ活との協力

【参考：2024年度WG資料再掲】2025年度予算（案）

・各SWGからの提案を踏まえた予算一覧は以下の通り。

SWG	時期	タスク	費用（概算で可）
説明会・PR	2025.4～6	賃貸オーナー向け情報誌広告掲載等	約100万円
	2025.7～9	賃貸オーナー向け情報誌広告掲載等	約100万円
	2025.10～12	賃貸オーナー向け情報誌広告掲載等	約100万円
	2025.6,11 通年	・総会、日管協フォーラムでの出展等、日管協を通したPR活動を行う ・セミナー依頼があれば対応	24万円（出展費） （地方支部でセミナーを行う場合は移動費）
	通年	・EJメリットや補助金についてちんたい協会からオーナーへの発信をいただけるよう、引き続き働きかけを行う ・セミナー依頼があれば対応	0円 （地方支部でセミナーを行う場合は移動費）
	2025年度補助枠組み確定後	・ガス事業者に対して補助事業の紹介や補助金申請方法の解説、施工方法の紹介（上手に設置エコジョーズ）等を行う ※ガス給湯器卸事業者へのアプローチも可能か検討	約150万円（現地説明会の場合の会場費、印刷費等。オンラインでの開催も検討。旅費は各自持ち）
ドレン対応	METIアンケート集計後	各自治体へドレン排水取扱い見直しの働きかけを行う事業者等に対する説明会	約150万円 ※現地説明会の場合の会場費、印刷費等 ※オンラインでの開催も検討
施工	2025.01	上手に設置エコジョーズ（詳細版）改訂費用	38.5万円（税込み）
	2025.01	上手に設置エコジョーズ（簡易版）改訂費用	38.5万円（税込み）
		合計	約701万円

共同開催も検討

各SWG活動状況

SWG実施報告（説明会・PRツールWG）

7/15　第8回エコジョーズ普及推進WG資料再掲

SWG名	説明会・ＰＲツールＳＷＧ
これまでの実施事項	【PR関係】 デコ活応援隊補助金打合せ、 アットホームエンドユーザー向け広告媒体打合せ、 全国賃貸新聞社掲載広告打合せ 地主と家主記事掲載打合せ 説明会実施会場等打合せ 住宅省エネキャンペーンチラシ打合せ等 【説明会関係】 説明会資料作成、会場選定、日管協地方支部等への動員協力依頼
今後の予定	【PR関係】 全国7か所説明会実施会場の何か所かの説明員及び補助、全国賃貸新聞社広告媒体打合せ等。 【説明会関係】 説明会実施（7/10初回）
SWGをまたいで議論したい事項	【PR関係】 今後の活動において説明会ＰＲツールＳＷＧの員数が足りないと感じているので、実活動出来るメンバーを増員を検討していただきたい。 【説明会関係】 賃貸オーナー、管理会社、工事事業者様との接点機会があれば、説明会への参加を呼び掛けていただきたい。

説明会・PRSWG実施内容

【各ステークホルダーへの実施内容】

	居住者	賃貸住宅オーナー等	給湯器販売・施工者
			
目指すべき姿	**・「省エネで快適な設備の導入有無」が住宅選択の重要な基準となる** **（国民の行動変容へ繋げる）**	・入居率向上のためには省エネで快適な設備導入が必要と考え、エコジョーズや窓リノベ等省エネ設備を積極的に導入する	・エコジョーズのメリットを知り、給湯器交換時に積極的に提案する ・エコジョーズ導入に必要な工事を把握 ・窓リノベ工事等の受注
必要な取組	・省エネ部位ラベルの認知拡大に向けたPR ・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR ・窓リノベの省エネ性、生活環境病抑制効果をPR	・省エネ部位ラベルの内容や意義、入居率や関心向上効果をPR ・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR	・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR ・エコジョーズ導入に必要な工事を説明 ・開口部業界との工事連携の説明
主なPR手段	**・大手住宅検索サイト等を使った広告や貸し手側からの説明等**	**・賃貸住宅オーナー向けメディアでの広告等** **・エリア説明会、セミナー等**	**・エリア説明会等** **・メーカー等仕入れ事業者からの施工マニュアル活用提案等**

説明会概要

【会場名・開催日程・会場場所】

神奈川会場：　2025 年 7 月 10 日（木）　14:00～16:00
横浜市　TKPガーデンシティPREMIUM横浜西口
東京西部会場　2025 年 7 月 24 日（木）　14:00～16:00
立川市 立川商工会議所11階　第4会議室
京都会場：　2025 年 8 月 07 日（木）　14:00～16:00
TKPガーデンシティ京都タワーホテル　山吹
石川会場：　2025年8 月 28 日（木）　14:00～16:00
金沢市 TKP金沢新幹線口会議室
愛媛会場：　2025 年 9 月 04 日（木）　14:00～16:00
TKP松山市駅前カンファレンスセンター
福岡会場：　2025 年 9 月 11 日（木）　14:00～16:00
TKPガーデンシティ博多
宮城会場：　2025 年 9 月 25 日（木）　14:00～16:00
TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口

【プログラム】

第1部：説明会
１．住宅における省エネの必要性
２．エコジョーズ・高断熱窓導入に係る補助事業の紹介
３．エコジョーズ導入によるメリット・導入へのアクション（補助金申請のための相談先、必要な工事等）
４．高断熱窓導入によるメリット・導入へのアクション（補助金申請のための相談先）
第2部：個別相談会
（補助金申請手続き、エコジョーズ・高断熱窓導入にあたってのご疑問点等をご相談ください）

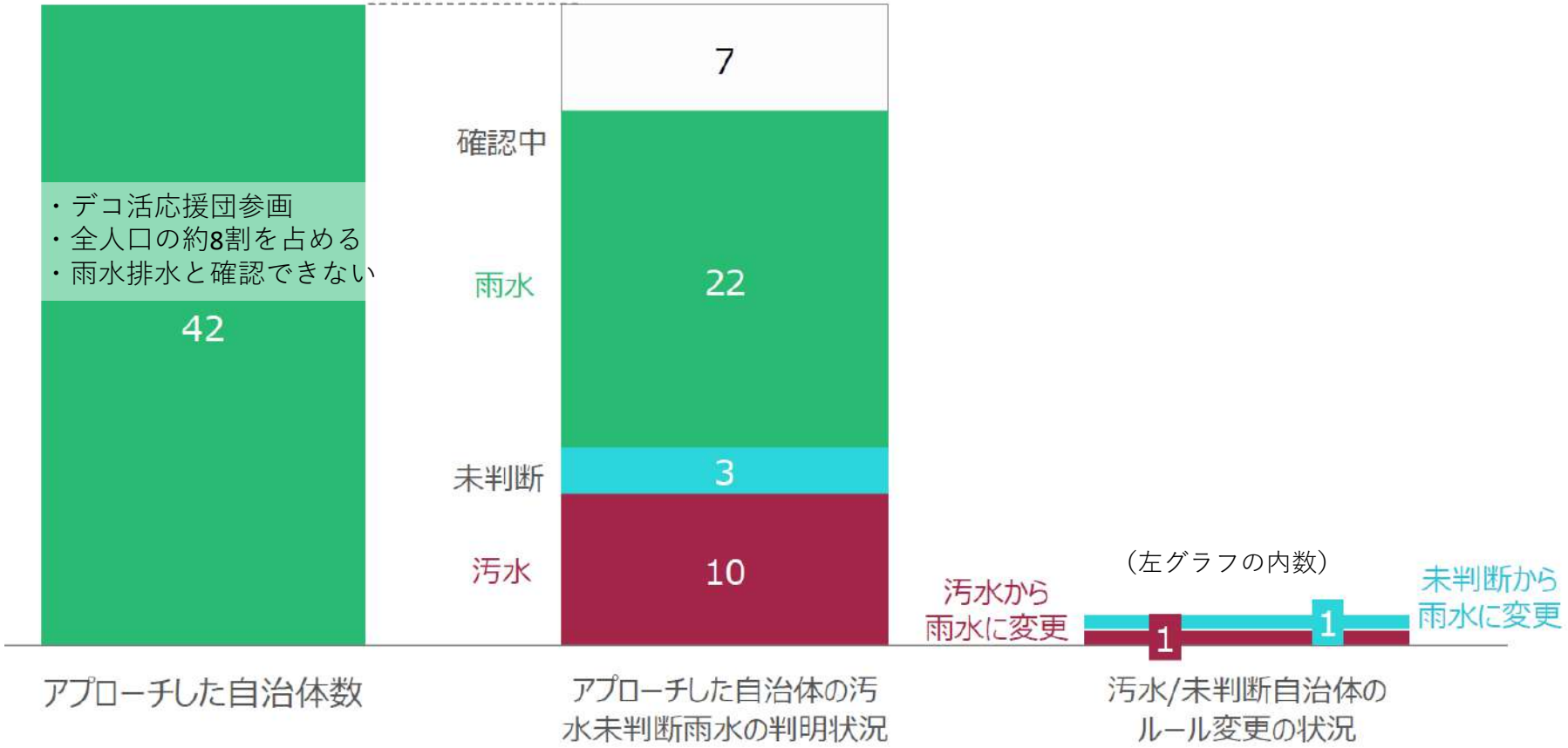
費用実績・見込報告（説明会・PRツールWG）　（実績は黒字、見込は赤字）

費目	費用（概算）
賃貸集合住宅オーナー、給湯器販売・施工者向け説明会会場費	800,000円
賃貸集合住宅オーナー、給湯器販売・施工者向け説明会資料印刷費	93,830円
「上手に設置エコジョーズ」(説明会配布用150部)費用	100,000円
省エネ設備メリット等周知チラシ製作費	282,700円
全国賃貸住宅新聞取材・広告出稿費	1,210,000円 2,080,000円
賃貸住宅フェア　カタログ展示費	88,000円
ニーズに応じて説明会開催、消費者へのEJ導入ニーズ調査等	1,345,470円
合計	6,000,000円

SWG実施報告（ドレンSWG）

● 環境省デコ活応援隊と連携し、昨年度は人口上位50かつドレン排水が雨水排水と確認できない自治体（HP等で調査）、今年度は「潜熱回収型ガス給湯器等のドレン排水の取扱いに関するWEBアンケート調査」で雨水排水と確認できない約50自治体に現状のヒアリングを依頼し、東大阪市・厚木市・日野市・土浦市と意見交換を行った。

2025年度にアプローチした自治体のドレン排水取扱い状況



出典：環境省作成資料にJGA追記

SWG実施報告（ドレンSWG）

SWG名	ドレンＳＷＧ
これまでの実施事項	環境省・デコ活応援隊と連携し、雨水排水であることが確認できていない自治体に対しヒアリングを実施。 2024年度：東大阪市 2025年度：厚木市、日野市、土浦市 雨水排水としていない自治体は、ドレン水の安全性（中和機能が失われることはないか）、ドレン水の量、取扱い公表方法、従来の対応との整合性等を懸念しており、必要な情報提供を実施 一方、法律が変わらない限り対応を変えないと回答する自治体やドレンの課題（雨水排水可としないとEJ化が進まない）をほとんど認識していない（従って、現状で何ら問題ないと認識）自治体も存在。
今後の予定	デコ活応援団となっている自治体へのヒアリング デコ活応援団以外の自治体へのアプローチ検討
SWGをまたいで議論したい事項	雨水排水「可」自治体情報（図表示・一覧）の掲載・更新と活用について、SWG間での共有を望む。 掲更：who、when、how 、where 掲載・更新するか 活用：ドレンSWG、説明･PR SWG （施工SWGでは排水情報ツールへ掲載するとすれば関係する）

費用実績・見込報告（実績は黒字、見込は赤字）　（ドレンSWG）

費目	費用（概算）
合計	

SWG実施報告（施工SWG）

7/15　第8回エコジョーズ普及推進WG資料再掲

SWG名	施工SWG
これまでの実施事項	・上手に設置エコジョーズ（2025年版）発行した。 日本ガス協会（200冊）、日本コミュニティーガス協会（50冊）、全国LPガス協会（200冊） JGKA（200冊）、日本ガス体エネルギー普及促進協議会（150冊） 購入していただいた ・十川ゴムさまが主体となりドレン排水ガイドの検証を行った 主要都市での現地UR調査、東京ガスさま倉庫での検証 ・2重管方式を全国普及に向けて特許を取得している大阪ガスさまとの検討会 まずは全国展開することにおいてはご了解いただけた
今後の予定	2重管方式の特許・部材調達含めた実運用に向けた課題共有と解消検討
SWGをまたいで議論したい事項	ー

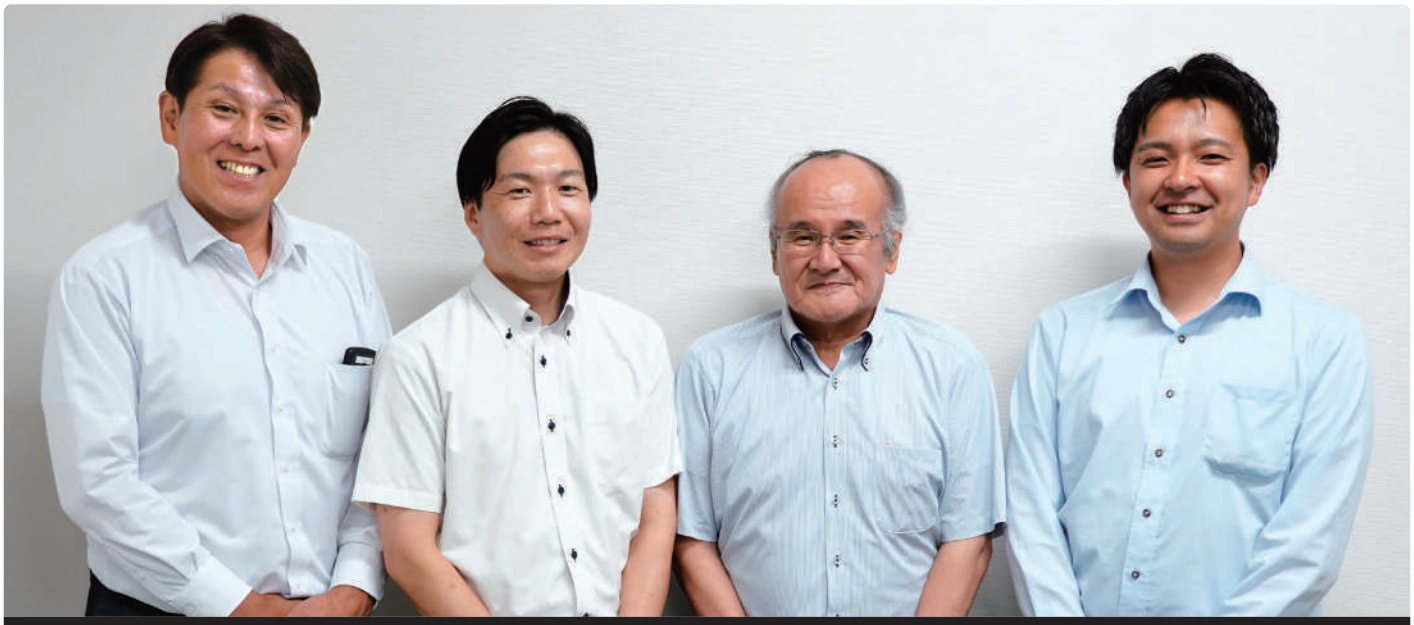
費用実績・見込報告（実績は黒字、見込は赤字）施工・ツールSWG

項目	費用
「上手に設置エコジョーズ」書籍作成代金	385,000
合計	**385,000円**

2025年度
第3回業務委員会
資料№12-2
Smart Action
コージェネ財団 かわら版［スマートアクション］
2025年9月 vol.51

――商品力・提案力・サポート力が奏功――

分譲住宅にエネファーム標準搭載、普及加速へ



INTERVIEW（インタビュー） 住宅分譲地開発事業者×地場工務店×ガス会社

住宅分譲地開発事業者	ダイア建設新潟株式会社 事業部 係長 坂井 亮太 さま	地場工務店	有限会社 集い家工房 取締役 坂井 龍雄 さま	ガス会社	北陸ガス株式会社 新潟支社 家庭用営業グループ マネージャー 半間 博之 さま リビング営業チーム 佐藤 祐太 さま

新潟市中央区上所（かみところ）に、総戸数265戸（マンション・戸建住宅）の大規模再開発「Dia Land（ディアランド）」が誕生。その分譲戸建住宅56棟がエネファーム標準仕様として販売されています。
なぜ、分譲住宅の標準仕様にエネファームが採用されたのか？
北陸ガス様とともに、分譲地開発事業者「ダイア建設新潟様」、住宅設計・施工の地場工務店「集い家工房様」にお話をうかがい、エネファーム採用のポイントを探りました。

北陸ガス様のお取り組み3つのポイント

1 ダイア建設新潟様（分譲地開発事業者）・集い家工房様（地場工務店）との連携強化
2 ダイア建設新潟様の分譲地開発コンセプトにあわせたエネファームの価値提案
3 エネファームの設置・点検・保守まで自社対応できる体制づくり

ポイント1 ダイア建設新潟様（分譲地開発事業者）・集い家工房様（地場工務店）との連携強化

Q. 3社のご関係と、エネファーム提案の経緯をお教えいただけますでしょうか？

北陸ガス 半間さま■集い家工房の坂井社長は、“都市ガスおよびガス機器への良き理解者”という私たちにとって、とてもありがたい存在です。何年前からか思い出せないほどの永いお付き合いで、エネファームの取り扱いが始まる以前から、「エコジョーズと温水ルームヒーターの組み合わせ」を基本とした住宅を、住宅設計段階からご協力させていただいています。集い家工房様がダイア建設新潟様の戸建住宅を手掛けられるようになってからも、ほぼ都市ガスを採用いただき「エコジョーズと温水ルームヒーターの組み合わせを標準仕様」とした住宅も数多くご提供させていただいております。



北陸ガス 半間さま

ダイア建設新潟 坂井さま■弊社は、マンションブランド「ダイアパレス」を長年に渡りご提供させていただいてきましたが、2011年から分譲戸建住宅ブランド「ダイアテラス」のご提供を開始しました。集い家工房様はツーバイフォー住宅を数多く取り扱われており、他の戸建住宅との差別化を図るという狙いもあり、ダイアテラスの設計・施工をご担当いただくようになりました。



ダイア建設新潟 坂井さま

集い家工房 坂井さま■北陸ガス様は、頻繁に会いに来てくれて、新商品や補助金などの情報提供をしてくださいます。本当に頭が下がるくらい！そして、ダイアテラスの戸建住宅で「BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）」の申請を考えていると北陸ガス様にご相談したところ、エネファームという良い商品があることを教えてくださいました。私は、地球環境や住環境を考えれば電気よりも都市ガスに優位性があると考えています。また新潟県は、2004年の中越地震、2011年の東日本大震災、そして2024年の能登半島地震などの影響を受け、近くには柏崎刈羽原子力発電所があります。この地域は、災害への関心が高い方が多いので、都市ガスで自家発電ができるエネファームのお話をうかがったときは、この街に最適なエネルギー機器であると感じました。まだまだオール電化住宅が多いですが、新潟県はとても寒いので暖房として石油ストーブを使われている家庭も多い。石油ストーブは灯油の燃焼時に大量の水蒸気を放出するため、その水蒸気で結露を誘発してしまいます。また、深夜電気料金も廃止された今、オール電化住宅は経済性も環境性も快適性も優れているとは思えません。一言で言えばエコではない。弊社ではツーバイフォー住宅を提供しておりますが、ツーバイフォー工法は気密性、断熱性が高く、リビングの温水ルームヒーター 1台で、心地よい温風が足元から2階まで届き住宅全体を暖められます。また、耐震性もとても優れていますので地震に強い。ツーバイフォー住宅とエネファームの組み合わせは、現時点では、最適解だと考えています。



集い家工房 坂井さま

北陸ガス 佐藤さま■このようにとても都市ガスへのご理解が高く、私どもがエネファームなどの情報提供をさせていただいても、坂井社長ご自身でいろいろ調べられ、すぐに私よりも詳しくなってしまわれます。集い家工房様の担当は、私でおそらく6人目かと思いますが、良好な関係を継続させていただいております。そしてこの度、集い家工房様とタッグを組み、ダイア建設新潟様に対して、新しい分譲戸建住宅の「エネファーム標準仕様」をご提案する機会をいただきました。



北陸ガス 佐藤さま

ポイント2　ダイア建設新潟様の分譲地開発コンセプトにあわせたエネファームの価値提案

Q. ダイア建設新潟様の「Dia Land」について、お教えいただけますでしょうか？

ダイア建設新潟 坂井さま■Dia Landは2019年から開発がスタートし、場所は新潟市中央区上所で「旧中央卸売市場」の跡地です。「人・暮らし・未来を彩る街」をコンセプトに、世代を越えて永く愛され継承される、ヨーロッパの街づくりの思想を取り入れたテーマタウンとして再開発いたしました。イオンスタイルなどの商業施設、保育所や医療施設などともに、住民のみなさまが集う集会所と公園、マンションと戸建住宅の居住エリアで構成されています。その戸建住宅が、集い家工房様と北陸ガス様に携わっていただいた「ダイアテラス上所」です。



マンション・戸建住宅あわせて総戸数265戸。
徒歩7分の場所に、JR越後線の新駅「上所駅」が開業

Q. 「ダイアテラス上所」について、どのようなご提案をされたのでしょうか?

集い家工房 坂井様&北陸ガス 半間さま・佐藤さま■開発コンセプトをお聞かせいただき、重視されるポイントと合致するようにご提案しました。そのポイントは「デザイン」「住環境・省エネ」「災害対応」の3つです。

ポイント❶ デザイン

〈ダイアテラス上所の重視ポイント〉

- 街全体がユーロデザインのDia Land。
- 戸建住宅は、南フランスなどをイメージした洗練され、かつ高級感のあるデザイン。

〈ツーバイフォー×エネファームの提案ポイント〉

- ツーバイフォーはユーロデザインに最適。
- エネファームは、スタイリッシュで未来感、高級感があるパナソニック製エネファームのデザインを紹介。この街の住宅にふさわしいデザインとして提案。

ポイント❷ 住環境・省エネ

〈ダイアテラス上所の重視ポイント〉

- Dia Land全体の敷地は3.7万m²。その1割を植栽により緑化。
- 暮らしの中に緑を取り込み自然と調和した住環境を提供するとともに、CO_2削減への貢献を配慮。

〈ツーバイフォー×エネファームの提案ポイント〉

- ツーバイフォー工法の気密性、断熱性の高さにより、冬は温水ルームヒーター 1台、夏は冷房専用エアコンにより、経済性と快適性を両立。
- ガスによる発電と給湯によるエネファームの省エネ・省CO_2。
- 子育てファミリー、共働き世帯を想定し、電気とお湯をたっぷり使用できるエネファームの快適性。温水ルームヒーターに加えて、ガス衣類乾燥機の設置を提案。







エネファームとともに、温水ルームヒーター、ガス衣類乾燥機を標準設置





ダイアテラス上所「エネファーム標準仕様」の住宅

ポイント❸ 災害対応

〈ダイアテラス上所の重視ポイント〉

- 近年の災害に対する意識の高まりから「災害に強い街」として災害対応を重視。
- 居住エリア内の管理棟（集会所）には、ソーラーパネルを設置。必要最低限の家電品などが使用できる自家発電装置を備え、災害時には、この管理棟と公園を避難エリアとして利用。

〈ツーバイフォー×エネファームの提案ポイント〉

- ツーバイフォー工法の耐震性の高さ。
- 停電時に、エネファームの非常用コンセントが利用可能。（停電時専用コンセントを全棟に標準装備）
- 大規模停電時でも自家発電できるエネファームは、この街の付加価値になると提案。



集会所としても利用される管理棟。非常時にはライフラインを確保し、隣接する公園とあわせて避難エリアとして利用できる

ダイア建設新潟 坂井さま■このようなご提案をいただき、安心安全で快適なお住まい、住環境を提供したいという我々の思いを実現できる提案ということがポイントとなり、採用となりました。



ダイアテラス上所の広告や現地住宅の説明ツールで、エネファームと温水ルームヒーターを紹介

ポイント3　エネファームの設置・点検・保守まで自社対応できる体制づくり

Q. エネファームなどのサポート体制についてお教えください。

北陸ガス 佐藤さま■住宅を購入されたお客さまに対して、住宅のお引き渡し時に機器説明をしておりますが、永く快適にご使用いただきたいので、使い方に加えてメンテナンスの仕方を詳しく説明しています。お客さまと直接お会いして、都市ガスおよびガス機器についての担当者であることを知っていただくことでお客さまにも安心感を持っていただけると思います。不明なことや、万が一、不具合が起きてしまった際には、お客さまから直接ご連絡をいただき対応しております。



北陸ガス 半間さま■弊社では、エネファームの故障対応を弊社社員と関連会社が行っています。エネファームメーカーに故障対応を依頼（事前に契約）することもできますが、もしもその対応に一週間かかってしまうことにでもなれば、お客さまにその間、ご不便をおかけしてしまうことになります。エネファームメーカーの研修を受け、メーカーから認められた技術力のある弊社および関連会社の社員によるサポート体制を構築し、早急に対応することにより、お客さまへのご不便を最小限にすることを目指しています。

北陸ガス 佐藤さま■エネファームに限らずですが、故障対応などを自社社員により迅速に対応することで、お客さまとの信頼関係の構築につながります。エネファームは、利用から10年経過前後に一度発電停止となりますが、その10年間は無償で定期点検や故障対応などを行う弊社の補償制度があります。その間、定期点検や故障対応などでお客さまと関係性を築けていれば、リプレイス（エネファーム再購入）提案の成約率も高まります。10年後のリプレイスに備えるという意味でもサポート体制は重要だと考えております。

集い家工房 坂井さま■北陸ガス様のサポートは、私から見ても素晴らしいですね。対応がとても早い。故障対応などに時間がかかれば、生活をされているお客さまの不満足につながってしまいます。お客さまに快適な住宅を提供する者として、信頼感を持って一緒にお仕事をさせていただいております。

Q. ダイア建設新潟様にとって、集い家工房様と北陸ガス様のアフターフォローなどはいかがでしょうか?

ダイア建設新潟 坂井さま■設計・施工をご担当いただく集い家工房様と、ガス機器をご担当いただく北陸ガス様の連携がとれていることは、私たちにとってたいへんありがたいことですね。お客さまに魅力ある住宅をご提供することはもちろんですが、建てて終わりではなく、お客さまが住まわれてから永くご満足いただくことが大切です。間取りなど住まいとしての快適性と、エネファームやガス衣類乾燥機などの設備を使い続けられる快適性。どちらが欠けてもお客さまの満足度に影響してしまいます。住宅とエネファームなどのアフターフォローがしっかりされていることで、私たちも自信をもってお客さまにご提供することができます。エネファームという商品の魅力だけではなく、集い家工房様と北陸ガス様の連携というサポート体制を含めた安心感と信頼感があったからこそ、今回のエネファーム標準仕様への採用につながったのだと思います。



取材の合間にも、開発状況などの情報を交換。次なる展開につなげていく

コージェネ財団
一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
燃料電池室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-4 アーバン虎ノ門ビル4階　TEL.03-3500-1612　FAX.03-3500-1613

https://www.ace.or.jp/fc/

発行日／2025年9月3日　発行者／一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター　燃料電池室　制作／株式会社プラティコ

2025年度
第3回業務委員会
資料№13

2025/10/03

2025年度　業務部報告

Q 1. ガス事業法遵守に向けたフォローアップ

1.(1)　ガス事業法における手続等の周知・徹底

1.(1)-1　今年度内に発刊する「Q&A（業務編）」及び昨年度発刊した「申請書・届出書記載例（業務編）」を使用した講習会の実施、事業者からの問い合わせ対応し、合わせて、利用者の意見・感想を収集し改定版の作成を検討する。

- 4月18日「Q&A」校了。30日一部納品。
- 「コミュニティーガス事業がよくわかる業務と保安・技術のQ&A」は4月発刊にずれ込んだが、各支部の講習会には間に合った。講習会での質問、問い合わせ等を参考に改定版発行に備える。
- 6月24日　北陸支部講習会（篠宮）　「Q&A」をテキスト。
- 7月15日　沖縄支部講習会（篠宮）　「Q&A」をテキスト。
- 7月17日　電力･ガス取引監視担当官講習(篠宮)　コミュニティーガス事業について。
- 7月17日　関東支部主任技術者研修（鈴木）　「Q&A」のPR。
- 8月27日　東北支部講習会（鈴木）　「Q&A」をテキスト。
- 10月28, 29日　　中国支部講習会（篠宮）「Q&A」をテキスト。
- 11月11日　北海道支部講習会　「Q&A」をテキスト。
- 12月12日　四国支部講習会　　「Q&A」をテキスト。

1.(1)-2　ガス事業法令集は常備・携行するには、重厚すぎる書籍になっている。またコミュニティーガス事業に関係しない法令・条文も多い。コミュニティーガス事業に特化した法令集（業務編）を編纂・刊行を検討する。

1.(2)　経過措置料金規制団地への継続的な対応支援

1.(2)-1　令和８年度の標準係数改定に向け、準備資料を収集・作成し、当局との協議に入る。

- 料金制度検討WGの準備として、アンケート調査を実施。

- 9月1日　第９０回料金制度検討WG開催「ベースデータの確認」

1.(2)-2　前準備として、スマートメーターの普及、コンビニ払い等支払い手段の多様化、郵送料の値上げ等、コミュティーガス事業を取り巻く業務内容・諸費用が劇的に変化している。料金制度検討WG開催し、標準係数への反映要否を検討する。

- 2025年2月に開催した第89回料金制度検討WGにおいて、現行の標準係数算定方式を維持することを確認した。8月下旬に予定している第90回同WGに向け、算定資料の収集を行う予定。

２．ＣＮ時代に向けたコミュニティーガスの在り方に関係する情報の収集及び紹介

2-1　グリーンＬＰガス、水素混焼等の脱炭素・低炭素化に関する調査・研究事例及び省エネルギーに資する配送効率化等の取組み事例の収集を継続する。

- 5月27日　東北支部総会懇親会において、ＬＰガスと水素の混焼を旧一般ガスとして進めていると聞く。
- 10月21日　第7回グリーンLPガス推進官民検討会予定

2-2　コミュニティーガス団地における省エネ活動を、地域や事業者のカーボンオフセットに利用する方策があるか調査する。

- 6月30日　ＥＧＥにてＪ－クレジットについて聴取。
- 9月　8日　デロイトトーマツコンサルティングにＪ－クレジット等について調査依頼の為の事前打ち合わせ。

３．経営基盤の強化

3.(1)　コミュニティーガスの認知度向上

3.(1)-①　需要家に対するコミュニティーガス認知度向上施策継続

「認知度向上ポスター（仮題：グリーンＬＰガスへの様々な取組み）」を企画し、作成・発行する。（「災害に強い」「脱炭素に有効」は既に作成発行済。）

- ポスター第４弾の原案作成。
- 7/14、印刷会社向けコンペ説明会
- 10/1　印刷会社に発注

3.(1)-② 液石専業事業者に対するガス事業法のコミュニティーガス事業に関する情報提供

Q&A（業務編）冒頭の【序章】を利用し、液石専業事業者にも理解して頂く方策を検討・実施する。（全L協と相談。）

- 5月16日　全Lに「Q&A」手交。液石専業事業者への周知を依頼→全Lおよび日液協の保安委員会で紹介するとのこと。

3.(1)-③ 住宅建築関係団体との需要開発に資する情報交換継続

日団協あるいはコラボを通じて住宅建築関係団体との交流機会は増加している。これからも自然災害に強く、被災時の避難生活における主要なエネルギーであり、回復も早い、ＬＰガスのコミュニティーガス事業の活用を提案する。

- 7月2～3日開催のコラボ・住宅関連団体合同施設見学会に参加
  参加団体・・・住宅生産団体連合会、プレハブ建築協会、日本木造住宅産業協会、ウィズガスクラブ
- 9月11日　ウィズガスクラブによる大阪・関西万博見学会に参加
  参加団体・・・（一社）全国住宅産業協会、ウィズガスクラブ

3.(2)　コミュニティーガスの需要促進

3.(2)-① 建替・リフォーム時のガス需要確保と機器販売促進等のための情報収集・発信

- ＬＰガス業界におけるＣＮトランジション期間の主要テーマは、「省エネ」と「燃転」になっている。ＬＰガス事業者は、ＬＰガス需要の減少を覚悟して、需要家に省エネの必要を説明し、高効率機器の利用を薦めることになる。一方でＣO2 排出量の多い「灯油・A重油」機器からＬＰガス機器への転換を進めることで、ＣO2 排出量の削減を行うとともに、ＬＰガス需要の維持・向上を図ることとなる。

- 高効率機器としては、エコジョーズ・ハイブリッド給湯器、エネファームが挙げられる。コラボでは日本ガス石油機器工業会と協力して、環境省のデコ活の活用も視野に入れ、主に既設集合住宅におけるエコジョーズ普及のため、ドレン水の雨水処理を認めていない自治体が雨水処理を認めるための活動を行っており、全自治体で雨水処理が認められるよう活動を継続する。

- オーナー・管理会社対象説明会を企画、デコ活に補助金を申請（共同申請）
- 補助金交付のためのヒアリングに参加
- 補助金前期不交付決定、後期の再申請を勧められるも、対象事業は前期でほぼ終了する予定のため申請断念。
- 開口部協会とも協力し、集合住宅オーナー対象の説明・相談会企画（資料別添）

➢ また燃転活動では、コミュニティーガスの場合、家庭用需要が大部分を占めるため、ファンヒーター等の灯油機器をＬＰガス機器に置き換える、下取りセール等が有効と思われ、これに資する方策を検討する。

（全Ｌで既に対応済みと思われるが、要確認。）

✓ 全Ｌに確認したところ、各都道府県協会に任せているとのこと。

3.(2)-② 会員事業者による顧客接点強化活動の推進支援

➢ 既に作成済みのパンフレット等は支部の要請に応じ増刷する。

3.(2)-③ 新たな普及促進につながる情報提供

Q 1. 資源エネルギー庁の制度設計専門会合、ガス事業制度検討WG、あるいは日団協・コラボの諸会議等で入手した情報で、会員事業者に資すると思われるものについては、協会ＨＰや業務委員会を通じて提供する。

【付録】会員事業者等からの問い合わせ対応(2025/3/5以降)

Q１. ４／３ HP 北海道 会員

経過措置団地において、特定製造所に対する事業所税非課税措置は存続していますか？

✓ 存続しています。資料送付。

Q２. ４／３ 関東 会員

規則13条によると原料LPGの熱量は最低値と標準地を記載することになっているが、協会作成のガス小売供給約款(一例)には標準値のみしか記載されていない。何故か？

✓ コミュニティーガスの場合、原料ＬＰＧの熱量の測定は規則第17条の規定により免除されている。これを受けて標準値の記載のみで足りると改正時に確認している。

Q３. ４／８ 本部 正会員

自社が供給するコミュニティーガス団地内で、自社が液石供給を行って良いか？

✓ 改正前に認可を受けた団地であれば不可と考えます。少なくとも好ましくはありません。液石供給を行う場合には液石供給を行わなければならない理由が必要と考えます。2017年改正後に届け出た団地であれば、液石供給は可能です。コミュニティーガス団地と液石供給が混在していること、例えば集合住宅70戸が存在する街区内にある戸建住宅に液石供給を行うことは問題になりません。

Q４. ４／18 関東 会員

供給計画第5表の記入方法について教えてほしい。「自社ガス発生量」には何の数字を入れますか？「最大ガス需要見込み」にはどの数字を入れれば良いですか？一つの団地に複数の特定製造所がある場合、合算して記載しますか？分割して記載しますか？

✓ 「自社ガス発生量」は、ガス小売登録申請または届出に記載した「供給能力の確保の見込み」を記載。「最大ガス需要見込み」は「最高ピーク時ガス需要量」を記載。供給計画の記載要領には「製造所別の記載」とは書かれてないので合算して記載で良い。データは持っておく必要がある

Q５. ４／21 TEL 四国 会員

供給地点の減少を届け出ることを検討している。この場合供給計画の変更についても届け出る必要がありますか？

✓ 供給地点の減少は「最大ガス需要見込み」を引き上げるものではなく、供給計画の変更は不要です。

Q６. ４／22 TEL 東海 会員

自由化団地において、ガス料金を集金する際の費用を請求することは可能と思うが、約款および14書面等のモデル、実施している事業者の情報は無いか？

✓ ホームページに集金業務の有料化を案内している事業者はある。約款・交付書面のモデルは無い。約款の「26. 料金の支払方法」と、交付書面に、集金員訪問に係る手数料はお客様にご負担いただくことを記載することを案内した

Q 7.　5/19 HP 九州 非会員(液石事業者)

コミュニティーガスの供給事業者になるために必要な手続きを教えてください。

✓　ガス主任技術者丙種、業務保安監督者（主任技術者と併任可）、調査員の資格、ＰＥ管配管作業員（協会で取得可）。
その他必要事項として、「ガス小売事業の登録申請」が必要
　新規申請前には必ず「九州経済産業局 資源エネルギー環境部 電力・ガス事業課」にご相談願います。

Q 8. 5/20 TEL・HP 東海 会員

支払い期限(供給停止)までの日数と、供給停止の事前案内の日数の変更は可能か？ また、再開栓の費用を請求することも可能か？

✓　自由化団地であれば、市は李期限の日数変更、および再開栓の手数料請求は可能。
供給停止の事前案内の15日程度前、5日程度前は「ガス小売営業の指針」に掲載されていることも有り変更は望ましくない。

Q 9. 5/20 TEL・HP 中国 会員

老朽化した気化装置1台を撤去し、残る1台で運用を継続することが可能か？
現地点数は232地点有るが、メーター取付数109地点、調定数は90地点となっている。
現有の気化装置1台では220地点までの需要には対応可、自然気化による供給で180地点まで対応可。

✓　基本的には供給地点に合わせた供給能力が必要となる。ガス供給する見込みが無い地点があるならば、地点減することで対応可能な場合も考えられる。

✓　事業者が行政に確認したところ、残り１台での運用の了承を得た。

Q 10.　5/20 TEL 東海 会員

地点群の事業譲渡はよくあるものか？
また、譲渡譲受に係る戸当たり費用は液石に比べると安くなるのか？

✓　毎月ではないが、譲渡譲受はあります。譲渡価格等の情報はありませんが液石と比較すると、各費用等やガス料金を考慮すると安くなると思われます。

Q 11.　5/23 HP 設計事務所

現在、1棟44戸の市営住宅を同敷地内に2棟建設予定で、各棟ごとに屋外LPガスボンベ庫(50kgボンベ×10-20本程度格納)を設置する計画となっております。敷地内は、2棟の市営住

宅で、棟の間は、芝緑地となっております。ガス事業法第二条によると、1の団地で70以上の供給地点でガス事業法に適用になると解釈できたのですが、本計画の条件では、ガス事業法適用なのか、液化石油ガス法適用なのか、ご教授願います。
ガス事業法となる場合、敷地を棟ごとに分筆することで、1の団地とみなされないのか。また、ガス事業法となる場合、棟の間に市道等の道路4m以上を設置することで、1の団地とみなされないのか。

✓ １棟1棟44戸の市営住宅を同敷地内に2棟建設とのことなので、2棟で88戸となりガス事業法が適用されます。

① 判断基準のなかで、供給設備の数は問わないこと。⇒棟ごとにボンベ庫が有ってもガス事業王が適用される。

② 隣接した街区（例 ○町１丁目１番地と１丁目２番地）であっても、ブランドが同じ場合（市営住宅）は双方をカウントする

③ ②から、敷地を分筆しても、間に道路を造っても双方で88戸となるのでガス事業法適用となります。）

Q 12. 6/4 HP 関東 会員

供給地点である戸建・集合混合型団地に建設予定の30世帯の集合住宅へ供給する事になり、今後の法的手続き等について教えていただきたい。

業務

・地点増の届出（様式6： 30件分）

・供給能力確保の見込みの変更届（様式6： 30戸増加となることで、現在の設備の能力増強が必要な場合）

・最大ガス需要の見込みの変更届（様式6： 30戸増加となることで最大需要が増加する可能性ある。）

・導管の延長に係る変更届（様式6： 30戸向けの本支管の延長が必要な場合）

・供給計画変更届（様式16）

Q 13. 6/14 HP 本部 会員

せり上がりについて訪問し相談したい。

✓ せり上がり物件も多く、業務・技術の申請・届出があることから早めに行政と相談することをすすめた。

Q 14. 6/17 HP 近畿 非会員

マンションお譲渡譲受についての手続きを教えていただきたい。
コミュニティーガス事業を行ってなく、現供給会社が保安点検をされていないということで、ガスを弊社へ切り替えることとなった。

- ✓ 新規ガス小売事業登録が必要となります。（資源エネルギー庁のガス小売事業の登録申請についてのページを案内
- ✓ その他の届出等
  ・供給計画届出　・保安規程届出　・保安業務規程届出　・主任技術者選任届出
  ・状況により譲渡譲受に係わる書類が必要となる。
- ✓ 幣協会近畿支部に相談して下さい。その後に近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 電力・ガス事業課に事前相談することとなります。
- ✓ Q＆Aをはじめ各種図書も協会で販売しているので、ご購入をお願いいたします。

Q 15. 6/18 HP 関東 会員

検針結果を郵送にてお送りする費用を、ガス料金とは別にその他費用にてご請求する際の注意点はどんなことでしょうか？
LPWA導入にあたり検針のお知らせをWEBでも確認できるようにしたいと考えております。これまでは検針時にポストへ検針票を投函しておりましたが、LPWAの移行に伴い検針結果を郵送にて送ることとなります。即座にWEBへ移行いただける方であれば問題はありませんが、ハガキ等による郵便物をご希望される方には郵便代を請求する考えです。

- ✓ 経過措置料金規制が課されている団地（経過措置団地）と、料金規制が解除された団地（自由化団地）で対応が異なります。

経過措置団地

「供給約款料金算定の手引き」によりますと、ガス料金には検針の労務費、通信費（その他経費）が含まれております。LPWAに変えることは、検針労務が無くなること等のコスト比較からメリットがあるから採用すると思われますので事業者都合とも考えられます。細かい話になりますが、LPWA導入に伴う費用の増加と、検針労務費等の削減の双方を考えなければなりません。増加分だけお客様に請求するのではなくマイナス分も考えたうえで費用を算定し、料金算定を再度行った上で「指定旧供給地点小売供給約款」の変更申請・認可が必要となります。
事前に管轄の経済産業局等に相談してください。

自由化団地

検針結果を郵送にてお送りする費用を需要家に請求することは、「ガス小売供給契約」又は「ガス小売供給約款」の改定であり、需要家に対する不利益変更となりますので、新ガス事業法第14 条（説明・書面の交付）及び第15 条（書面の交付）は丁寧に行うことが必要です。

Q 16. 7/1 HP 本部 会員

自由化団地の事業譲渡を受ける際に ①14条書面・15条書面の再交付が必要か。
②消費機器調査は新規顧客と同様に再度実施が必要か。③周知業務は改めて実施が必要か。
④ その他必要な手続きがあればご教示いただきたい。

- ✓ 社名・連絡先等が変わることを説明することも法14条15条の一環となりますので、必要となります。
- ✓ 既事業者から、需要家の消費機器調査・内管検査データを引き継ぐことができたら、前回実施した日に合わせて消費機器調査を行えば良いです。データが不足しているようでしたら行うべきです。
- ✓ 消費機器の種類に応じた周知頻度が行われていて、その記録が明確になっていればよいのですが不明瞭なら行うべきです。
- ✓ 行政への手続きはご存知のことと思いますので省略します。譲渡譲受に伴う対応として、既事業者が〇年〇月〇日から、事業者が変わることをお知らせし、その後に新事業者からのお知らせ（14条）を行った例が数社ありました

Q 17.　7/3　架電　北陸　会員

1棟80戸の集合住宅。入居者が減少し、オーナーに確認したところ入居者の募集はしないとのことであり、供給地点群の減少を届け出た。その後オーナーが変わり、入居者を積極的に募集し、70戸に迫る勢いとなっている。再度、供給地点群としたいがどうすれば良いか？

- ✓ いったん廃止した供給地点群を復活させる話は全くない話ではなく、旧雇用促進住宅などで例はある。事前に変更登録を申請することになると思うが、局に相談することを勧める。設備の変更がなくても使用開始前検査を受けることになると思うので、保安監督部にも事前に相談した方が良い。

Q 18.　7/9　HP　調整器メーカー

コミュニティーガス事業における調整器の取替について以下の場合、メーカーの変更を伴う取替であっても変更届など手続きは不要でしょうか。

・切換方式（自動切換）、能力（100kg/h）が同じ

・集合管（高圧部）の全長変更はなし

- ✓ 調整器の能力・型式・サイズが同じであれば、保安系の手続きは不要です。
  しかし、業務系では地方局により「ガス小売事業変更届」の提出を求められる場合があります。これは、管轄する行政（地方局）により違いがありますので、行政にご確認願います。
  ＊交換した日を管理したいとか、変更届出書に「変更年月日」の記載欄があるから等、理由はまちまちです。

Q 19.　7/10　HP　関東　会員

現在、他社供給のガス事業法に基づく特定製造所の看板あり物件（47戸）区分所有のマンション（隣に敷地境なしの別供給設備のマンション48戸あり）について、47戸を弊社が供給する事になった場合、ガス事業法ではなく、液石法の適用になるのでしょうか？

- ✓ 仮に47戸のマンションをＡ棟、48戸のマンションをＢ棟とします。
  特定製造所と記載がありますので、Ａ棟＋Ｂ棟の95戸に他社がコミガスとして供給しているのではと推測いたします。　（供給設備の数は問わないとありますので、Ａ棟Ｂ棟別々の供給設備でも同一事業者が供給していればガス事業法の適用を受け

る。）このケースであれば、A棟のみ御社が供給するとなると双方ともに液石適用となります。B棟が御社が液石で既に供給している場合には、A棟が加わるとガス事業法適用となります。もう少し情報（地図、マンション名等）をお伺いできれば、回答ができるところです。

Q 20.　7/10 HP 関東 会員

事業譲渡の予定しており、旧小売業者は解散の予定です。

市営・県営住宅集合型4地点群と住宅団地・市営住宅集合混在型1地点群です。すべて指定解除され自由化団地です。

①ガス料金について旧小売事業者の料金を引き継がなければならないか。

✓ 一般的には、当面の間は現状の料金を引き継ぐのがほとんどです。自由化団地ですので必ずそうしなければならないわけではありませんが、事業者様が変わったことで、いきなり値上げはしにくいところです。1点懸念されるのが原料費調整制度の関係で、基準平均原料価格が安く現在上限に達している場合に基準平均原料価格を上げてガス料金の洗い替えが必要になると思われます。

②14条書面で需要家に小売業者の切り替えの同意を求める必要があるか。市営住宅・県営住宅の管理者の同意を根拠に需要家には同意を求める必要はないか。

✓ 事業者、連絡先等変更となりますので14条15条は必要です。既事業者が解散による譲渡譲受で管理側も了承していることから、事前の案内（14条の一環）に「料金はどうするのか」を記載し、「同意される場合は特段の手続きは不要です。」と入れていただければよいです。連絡が無い場合は同意したとみなすことにした方が良いと思います。

③ガス小売事業変更届出書の提出はガス小売事業承継届出書と同時になるのか。承継届出書の添付書類で規則第10条第1項第1号の譲渡があったことを証する書類の内容はガス小売事業に関するものだけで良いか。その他の財産の査定に時間がかかる場合が考えられる。

✓ 「ガス小売事業変更届出書」の提出については双方とも届出書なので同時で良いと考えますが、行政に確認した方が良いでしょう。ガス小売事業の譲渡譲受に係わる契約書等で良いです。

④消費機器調査・周知については、旧小売事業者の実施年月日を新小売事業者の実施起算年月日としてよいか。してはならない場合、消費機器調査・周知は、承継年月日からどのくらい猶予期間があるのか

✓ 既事業者からのデータが明確になっていれば、引き継いで大丈夫です。明確になっていなければ切り替え日（開栓日）に調査・周知をする必要があります。

⑤特定ガス発生設備の巡視点検・検査についも質問④と同様に起算日はいつになるのか。

✓ ④同様です。

⑥保安課に提出する書類は、ガス主任技術者選解任届以外にあるか。

✓　「供給計画変更届出」、「保安規程届出」、「保安業務規程届出」等
＊申請・届出については行政によって添付資料が追加される場合がございますので、事前に行政（関東局ガス事業課・関東東北保安監督部）にご相談願います。

Q 21.　7/25　HP　東北　建築設計事務所

集合住宅88世帯のLPガスをガス事業法適用とした場合ガス給湯器等の4年に1回の法定点検は必要になりますか。

✓　一般消費者の場合、４年に１回の法定点検（消費機器調査、内管検査）は都市ガス、簡易ガス、LPGすべてに義務づけけられております。
（大口需要家や設備の状況により年数が異なる場合があります。）

Q 22.　7/28　HP　九州　会員

特定ガス工作物変更届出書についてですが、ボンベ本数の変更届と調整器交換の届を提出したいので必要なものと様式を＞　教えてください。

ボンベ本数は減らす方で、調整器の能力は変わらず交換になります。いずれも、違う供給地点となります。

✓　様式６「ガス小売事業変更届出書」が必要となります
①　調整器の変更の場合、同一型式、同一能力の変更の場合は地方局により提出の要・不要がありますので九州局にご確認願います。（参考：記載例13）
②　容器本数の変更の場合、調整器・集合装置の変更を伴わなければ様式６を提出。
調整器・集合装置の変更
③　②の調整器・集合装置の変更を伴う場合は、内容により産業保安監督部へ提出書類が出てきます。　例　工事計画、使用前検査　等
＊　保安系は、調整器本体の変更は能力を伴わないものということですので、軽微な変更となり工事計画、使用前検査は不要。

Q 23.　8/6　HP　関東　会員

保安物件について教えていただけると助かります。
特定製造所が貯蔵能力3,100kgなのですが、すぐ横に消防署が新築されました。（距離6.6m）
技省令6条、技省令告示3条・4条によると保安物件には該当しないと考えますが、
当番で宿直等を行っていた場合など、少し気になるところもあるので、見解を教えていただけると助かります。

✓　消防署の宿直室は緊急時に出動するための拠点・待機場所なので、工場の宿直室（第2種保安物件）とは異なります。よって、消防署は保安物件には該当しないと考えます。

Q 24.　8/6　HP　関東　会員

自由化団地に供給をしております。他の団地もあります。１人のガス主任技術者の兼務可能（現在2人から1人に変更可）な地点数と調整器の能力（300kg/hから100kg/hに可能）の選定根拠の関係でオール電化住宅を供給地点数から減らす計画をしておりますが、何か問題があります

か。

✓ 主任技術者を兼務させる場合、地点数の合計が1,000以下であること。特定製造所に感震遮断や異常時の監視・通信装置がある場合は除くこととなっております。
御社は3団地で地点数の合計が古いデータかもしれませんが約1160あると思います。
3か所兼務となると160削減か監視装置を設ける等の対応が必要となります。
行政からオール電化の需要家のガス設備（供給管・灯外管）の撤去の有無を聞かれる可能性があります。残っていますと（ポリエチレン管は除く）定期漏洩検査の対象となりますので、この点が懸念される点です。

Q 25.　8/29 HP 関東 会員

埼玉県第4回LPガス補助金の申請をしたいです

✓ 埼玉県第4回LPガス補助金の申請につきましては、埼玉県が「㈱東急交通社 カスタマーリレーション」業務委託しております。下記のページからご確認願います。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0403/dai4kailpgashojojigyou.html

Q 26.　9/2 HP 関東 会員

近年の労務費及び資材価格の高騰を受け、コミュニティーガスエリアの料金改定を検討しております。つきましては、茨城県つくば市近辺の他企業様の基本料金、従量料金などについての情報収集が可能でありましたらご教授いただきたいのと、業界的に価格アップについての皆様の認識を共有したいと考えます。ご指導よろしくお願い申し上げます。

✓ ガス料金については、協会でもデータは持っておりません。各事業者様で確認するか、それ以外ではホームページに約款が掲載されておりましたら、そこで確認するしか方法はありません。また、「経過措置料金規制団地」における料金改定は、全てではないのですが「標準係数」を利用した改定が主となり、認可申請となりますのでご注意願います。

Q 27.　10/1 メール 行政（事業者から）

ガス小売事業の新規登録時や、事業承継により新しくガス小売事業者になる場合、「保安業務規程の作成」や「保安業務監督者の選任」は必要か？
また、保安業務を他社へ丸ごと委託する場合でも、「業務規程の作成」や「監督者の選任」というのは義務になるのでしょうか。
保安業務監督者になるには、ガス機器検査協会の講習を受けねばならず、費用もかかるので、義務でないなら避けたい

✓ ガス事業法　第百六十条
ガス小売事業者は、経済産業省令で定めるところにより、前条の業務（以下この条において「保安業務」という。）に関する規程（以下この条において「保安業務規程」という。）を定め、その事業の開始前に、経済産業大臣に届け出なければならない。
上記の通りとなっておりますので、保安業務を委託しようが「保安業務監督者の選

任」を含めて必要となります。
この事業者は「保安業務」をと混同しているのではないかと思います。
簡単に言いますと、保安業務が2つに分かれます。
　①ガス工作物に関する保安　⇒　保安規程
　②消費機器に関する周知・調査の業務（保安業務）　⇒　保安業務規程
このようになっておりますので、自社の従業員がガス使用開始時の開栓や定期周知等行う機会があると思います。丸ごと委託とはならないはずです。

以　上

2025年度
第3回業務委員会
資料№14-1

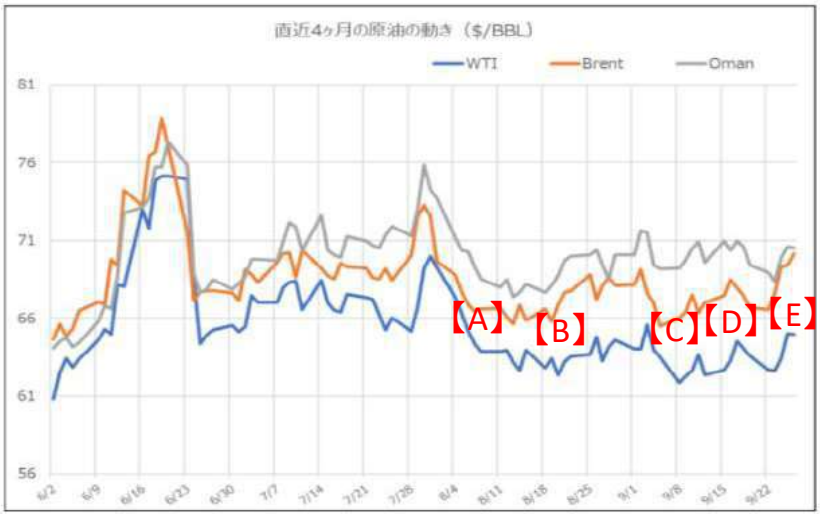
（資料提出日：10月2日）
2025年10月9日
ENEOSグローブ株式会社

事業用原料の需給・価格動向について（海外マーケット動向）

1.最近の原油動向

【8月】
・8月のWTI原油は$62~69/bbl台の推移。
・上中旬はOPECプラスが9月の生産増＋547千bbl/日を 発表。需給緩和観測が広がり、WTIは下落。【A】
米国による相互関税の引き上げや中国の経済指標の悪化を受けて、原油需要の減速が意識されたことも一因。
・下旬はウクライナ情勢や米国の金融政策、ロシア産原油の供給懸念など複数要因により、上下動を繰り返す。
ロシアとの和平交渉の行方やインドへの追加関税は 地政学リスクやロシア原油供給懸念よりむしろ、
不確実性としてリスクオフの売り材料となり、8/28時点では$63/bbl台で推移。【B】

【9月】
・9月のWTI原油は$61~66/bbl台の推移。
・米国経済指標の軟化やOPECプラスによる10月の増産決定が原油価格を下押し。
一方、ロシアのドローンがNATO加盟国のポーランドやルーマニアの領空を侵犯したほか、イスラエルが
カタールを攻撃するなど、地政学的リスクの増大が価格を押し上げ。
・上旬：9月5日、米国の雇用統計が弱く、原油需要の先行き不透明感が強まったことで、WTIは大幅下落、
一時は$61.45/bblと６月上旬以来の安値をつけた。【C】
・中旬：ロシアのエネルギー施設攻撃などが
相次ぎ、中東以外でも供給混乱リスクが市場
に意識され、$64/bbl台まで上昇した。【D】
・下旬：9月26日、ロシアを巡る地政学リスク
の高まりに加え、同国からのエネルギー供給
が減るとの見通しが買いを誘った。
一時は66.42ドルと期近物としては8月上旬以来
の高値を付けた。【E】



【原油価格推移】

→ 2025FY

($/BBL)	2024FY	1StQrt	7月	8月	9月	2NdQrt	9/23	9/24	9/25	9/26	9/29	9/30	先週比
WTI	74.3	63.7	67.2	64.0	63.5	64.9	63.4	65.0	65.0	65.7	63.5	62.4	(▲1.0)
BRENT	78.1	66.8	69.6	67.3	67.6	68.1	67.6	69.3	69.4	70.1	68.0	67.0	(▲0.6)
OMAN	78.4	66.9	71.1	69.3	70.0	70.1	68.4	69.9	70.6	70.5	69.2	67.5	(▲0.9)

2.ＬＰＧ（ＣＰ）の動向

10月ＣＰは、Ｐ：＄495、Ｂ：＄475（9月30日通知）
10月CP価格は、先月比でプロパンが▲＄25、ブタン▲＄15で確定。月初から月末まで、先物指標は＄540～＄550前後のレンジで安定して推移していたが、結果的に前日までの相場を大幅に下回る値付けとなった。左記の要因としては、米国玉の輸入量が増えているインドや、石化需要で米国産カーゴを一部購入する中国向けを意識した動き（CP値付）があると思われる。

【ＬＰＧ価格推移（ＣＰ）】

＄／トン

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プロパン	2023FY	555	555	450	400	470	550	600	610	610	620	630	630
	（ＡＬ等価比）	84%	79%	79%	64%	69%	75%	76%	80%	85%	93%	93%	93%
	2024FY	615	580	580	580	590	605	625	635	635	625	635	615
	（ＡＬ等価比）	88%	78%	82%	83%	83%	93%	101%	102%	104%	102%	95%	95%
	2025FY	615	610	600	575	520	520	495					
	（ＡＬ等価比）	98%	104%	113%	99%	88%	89%	82%					
ブタン	2023FY	545	555	440	375	460	560	615	620	620	630	640	640
	（ＡＬ等価比）	84%	80%	70%	60%	68%	77%	79%	82%	88%	96%	96%	96%
	2024FY	620	585	565	565	570	595	620	630	630	615	625	605
	（ＡＬ等価比）	90%	79%	81%	82%	82%	93%	102%	102%	104%	102%	95%	94%
	2025FY	605	590	570	545	490	490	475					
	（ＡＬ等価比）	98%	102%	109%	95%	84%	85%	80%					

【スポット市況】

→ 2025FY

＄／トン

		2024FY	1StQrt	7月	8月	9月	2NdQrt	9/23	9/24	9/25	9/26	9/29	9/30	先週比
ＣＦＲ日本	P	629	538	524	522	540	529	NA	542	536	537	526	515	－
（RIM Japan Index）	B	622	518	497	516	554	522	NA	558	552	553	542	531	－
米国	P	412	405	368	347	356	357	359	364	362	367	360	355	(▲5)
（Non-TET※）	B	460	399	389	377	407	391	409	413	416	422	422	409	(▲1)
極東ナフサ	$/ﾄﾝ	667	576	583	581	601	588	598	606	609	608	607	592	(▲6)
タンカー(中東-日本)※	$/ﾄﾝ	58	63	81	87	77	82	74	73	72	72	72	70	(▲4)

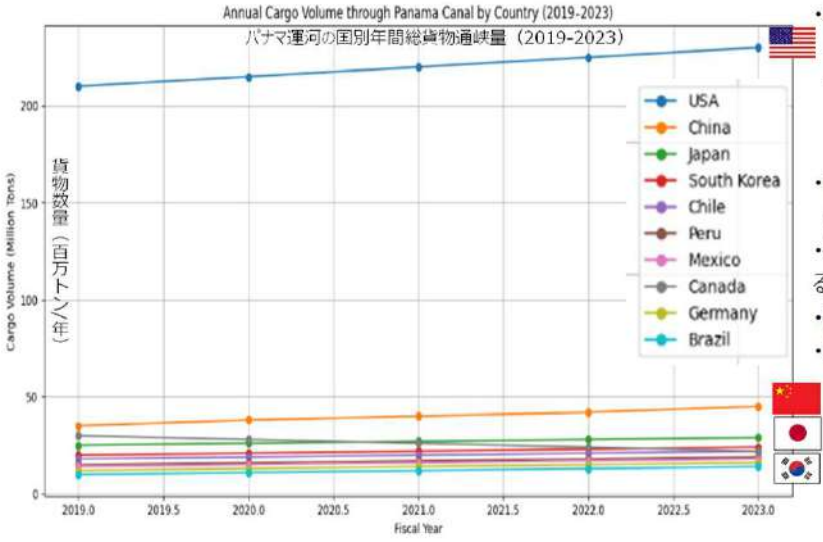
※Non-Titled Export Terminal価格：米国エンタープライズ社が運営するテキサス州ヒューストン/モントベルビュー（MB）のLPガス輸出基地での現物取引価格（MB価格）

※Baltic

3.ＬＰＧフレート動向

9月のフレート市況は、月平均で中東77$/MT（前月対比▲11$/MT）、米国149$/MT（前月対比±0/MT）となった。月間の値動きについては、中東75～84$/MT、米国138～156$/MT。上旬はインドでの滞船やパナマ混雑が落ち着きフレート下落したが、中旬に複数隻の成約が見られたことから供給タイトとなり上昇傾向に転じた。

【参考】パナマ運河の状況について



・米国は一貫して最大の通峡量を維持しており、年々増加傾向。
→ 全体通行量の70～75%を占める（圧倒的）。
→ パナマ運河を巡る米国の圧力（運河の米国返還も示唆）
→ 米国政府船を通峡料無料化
→ パナマから中国の「一帯一路」からの離脱意向引き出し
・中国、日本、韓国も安定した増加を示しており、アジアの物流依存度が高いことが分かる。
・カナダは減少傾向にあり、通航制限や代替ルートの影響が考えられる。
・南米諸国（チリ、ペルー、ブラジル）は緩やかな増加傾向。
・パナマ運河の通峡隻数（1日あたり）のトレンドは以下表のとおり。

船型	通常時	23年12月	24年1月	24年3月	25年2月
Neopanamax（大型）	10	6	7	7	10
Panamax（通常型）	26	16	17	20	26
計	36	22	24	27	36

出典）IMF Portwatch を参照に筆者作成。

パナマ運河庁は新貯水池「リオ・インディオ湖PJ」を2027年に着工予定。完成まで約4年を予定。 渇水影響

米国関税前倒し輸入影響？

2026年は反動で33隻/Dayに制限？ ← 2023年度の渇水影響は完全に回復しておらず、直近の36隻は米国関税前倒し輸入の影響と推

出展：公益財団法人笹川平和財団、HPS Trade Co.,Ltd、パナマ運河庁

2025年度
第3回業務委員会
資料№14-2

原 料 価 格 推 移 表

年・月	プロパン価格(円) 10㎥ 小売価格	プロパン価格(円) 10kg 卸売価格	CIF価格(速報・プロパン) 対前月比	CIF価格(速報・プロパン) 円／ﾄﾝ	CIF価格(速報・プロパン) 為替レート 対前月比	CIF価格(速報・プロパン) 為替レート 円／ﾄﾞﾙ	FOB価格(CP・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) 対前月比	FOB価格(CP・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) プロパン	FOB価格(CP・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) 対前月比	FOB価格(CP・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) ブタン	FOB価格(MB・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) 対前月比	FOB価格(MB・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) プロパン	FOB価格(MB・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ) 対CP
2023年1月			−7,032	82,010	−4.74	131.35	−60	590	−45	605	+81	438	−152
(R 5年)2月	8,857	1,634	+7,160	89,170	+2.40	133.75	+200	790	+185	790	−7	431	−359
3月			+4,927	94,097	+1.17	134.92	−70	720	−50	740	−18	413	−307
4月	8,925	1,778	−9,276	84,821	−0.52	134.40	−165	555	−195	545	+8	421	−134
5月			−4,276	80,545	+4.03	138.43	0	555	+10	555	−87	334	−221
6月	8,934	1,500	−3,614	76,931	+3.84	142.27	−105	450	−110	445	−40	294	−156
7月			−7,280	69,651	+0.03	142.30	−50	400	−70	375	+29	323	−77
8月	8,899	1,486	+4,296	73,947	+3.54	145.84	+70	470	+85	460	+28	351	−119
9月			+11,651	85,598	+2.89	148.73	+80	550	+100	560	+33	384	−166
10月	8,932	1,616	+7,827	93,425	+1.87	150.60	+50	600	+55	615	−29	355	−245
11月			+1,747	95,172	+0.35	150.95	+10	610	+5	620	−21	334	−276
12月	9,010	1,644	−1,998	93,174	−5.82	145.13	0	610	0	620	+25	359	−251
2024年1月			−7,475	85,699	+2.52	147.65	+10	620	+10	630	+67	426	−194
(R 6年)2月	8,999	1,660	+7,055	92,754	+2.85	150.50	+10	630	+10	640	+46	472	−158
3月			−57	92,697	+0.17	150.67	0	630	0	640	−56	416	−214
4月	9,057	1,684	+1,838	94,535	+3.84	154.51	−15	615	−20	620	−2	414	−201
5月			+2,278	96,813	+2.74	157.25	−35	580	−35	585	−52	362	−218
6月	9,054	1,648	−2,751	94,062	+1.64	158.89	0	580	−20	565	+33	395	−185
7月			+4,256	98,318	+0.27	159.16	0	580	0	565	+21	416	−164
8月	9,119	1,674	−7,325	90,993	−11.72	147.44	+10	590	+5	570	−26	390	−200
9月			−2,686	88,307	−2.89	144.55	+15	605	+25	595	−50	340	−265
10月	9,105	1,584	+59	88,366	+6.14	150.69	+20	625	+25	620	+66	406	−219
11月			+6,793	95,159	+4.16	154.85	+10	635	+10	630	+13	419	−216
12月	9,145	1,681	−443	94,716	−0.08	154.77	0	635	0	630	−19	400	−235
1月			+875	95,591	+2.77	157.54	−10	625	−15	615	+69	469	−156
2月	9,197	1,747	+2,570	98,161	−4.52	153.02	+10	635	+10	625	+11	480	−155
3月			−2,203	95,958	−2.77	150.25	−20	615	−20	605	−26	454	−161
4月	9,208	1,769	−5,646	90,312	−4.76	145.49	0	615	0	605	−10	444	−171
5月			−7,325	82,987	+0.26	145.75	−5	610	−15	590	−62	382	−228
6月	9,199	1,725	−1,754	81,233	−0.21	145.54	−10	600	−20	570	+8	390	−210
7月			−456	80,777	+2.20	147.74	−25	575	−25	545	−22	368	−207
8月	9,191		−3,067	77,710	+0.97	148.71	−55	520	−55	490	−21	347	−173
9月					+0.28	148.99	0	520	0	490	+9	356	−164
10月							−25	495	−15	475			
11月													
12月													

(注) 1. 小売価格は、「経済産業省モニター調査」の全国平均値である。平成15年10月以降は、隔月発表の石油情報センターの資料による。
2. 卸売り価格は、(財)日本エネルギー経済研究所石油情報センターの資料による。(H3．9以降隔月調査に変更)
3. 「CIF価格」は、財務省貿易統計の速報値である。

2025/10/2

一般社団法人　日本コミュニティーガス協会　業務部

〔CIF価格〕

財務省貿易統計

※基準平均原料価格は平成21年4月以降に認可申請又は届出された地点群に適用される値です。

	CIF速報			CIF確報			基準平均原料価格			上限バンド
	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	参照期間			(円/t)	(円/t)
2023年1月	960,205	78,746,588	82,010	960,205	80,081,447	83,400	2022年8月	～	2022年10月	97,440	155,900
2023年2月	778,243	69,395,546	89,170	778,243	69,636,631	89,479	2022年9月	～	2022年11月	96,380	154,210
2023年3月	1,107,128	104,177,489	94,097	1,107,128	103,429,358	93,421	2022年10月	～	2022年12月	92,810	148,500
2023年4月	746,302	63,301,784	84,821	746,302	63,332,984	84,862	2022年11月	～	2023年1月	88,150	141,040
2023年5月	627,136	50,512,760	80,545	627,136	50,090,283	79,871	2022年12月	～	2023年2月	86,930	139,090
2023年6月	603,380	46,418,888	76,931	603,380	46,469,635	77,016	2023年1月	～	2023年3月	89,220	142,750
2023年7月	693,698	48,316,880	69,651	693,698	48,910,343	70,507	2023年2月	～	2023年4月	89,820	143,710
2023年8月	671,791	49,676,754	73,947	671,791	49,737,216	74,037	2023年3月	～	2023年5月	87,590	140,140
2023年9月	484,732	41,492,027	85,598	484,732	41,945,490	86,533	2023年4月	～	2023年6月	80,860	129,380
2023年10月	478,781	44,730,307	93,425	478,781	44,556,293	93,062	2023年5月	～	2023年7月	75,290	120,460
2023年11月	760,761	72,403,283	95,172	760,761	71,582,830	94,094	2023年6月	～	2023年8月	73,680	117,890
2023年12月	897,964	83,667,137	93,174	897,964	83,667,137	93,174	2023年7月	～	2023年9月	75,740	121,180
2024年1月	1,018,868	87,315,751	85,699	1,018,868	86,906,148	85,297	2023年8月	～	2023年10月	83,420	133,470
2024年2月	746,103	69,204,342	92,754	746,103	69,241,056	92,804	2023年9月	～	2023年11月	92,160	147,460
2024年3月	744,727	69,033,733	92,697	744,727	68,994,993	92,645	2023年10月	～	2023年12月	93,480	149,570
2024年4月	802,610	75,874,552	94,535	802,610	75,814,469	94,460	2023年11月	～	2024年1月	90,590	144,940
2024年5月	700,345	67,802,427	96,813	700,345	68,101,551	97,240	2023年12月	～	2024年2月	90,040	144,060
2024年6月	549,194	51,658,486	94,062	549,194	51,897,467	94,498	2024年1月	～	2024年3月	89,720	143,550
2024年7月	631,799	62,117,127	98,318	631,799	61,998,925	98,131	2024年2月	～	2024年4月	93,360	149,380
2024年8月	491,715	44,713,167	90,933	491,715	44,696,763	90,900	2024年3月	～	2024年5月	94,590	151,340
2024年9月	512,200	45,230,746	88,307	512,200	45,331,337	88,503	2024年4月	～	2024年6月	95,300	152,480
2024年10月	639,515	56,511,492	88,366	639,515	56,268,727	87,987	2024年5月	～	2024年7月	96,800	154,880
2024年11月	698,778	66,494,854	95,159	698,778	66,224,089	94,771	2024年6月	～	2024年8月	94,820	151,710
2024年12月	929,316	88,021,242	94,716	929,316	88,021,242	94,716	2024年7月	～	2024年9月	92,880	148,610
2025年1月	945,583	90,388,933	95,591	945,583	90,720,282	95,941	2024年8月	～	2024年10月	89,170	142,670
2025年2月	706,829	69,382,851	98,161	706,829	69,259,931	97,987	2024年9月	～	2024年11月	90,840	145,340
2025年3月	1,061,119	101,822,718	95,958	1,061,119	101,980,931	96,107	2024年10月	～	2024年12月	92,840	148,540
2025年4月	661,110	59,706,472	90,312	661,110	59,216,281	89,571	2024年11月	～	2025年1月	95,050	152,080
2025年5月	684,563	56,809,924	82,987	684,563	56,990,725	83,251	2024年12月	～	2025年2月	96,110	153,780
2025年6月	646,343	52,504,230	81,233	646,343	52,587,615	81,362	2025年1月	～	2025年3月	96,480	154,370
2025年7月	663,416	53,588,654	80,777	663,416	53,385,937	80,471	2025年2月	～	2025年4月	95,080	152,130
2025年8月	642,005	49,890,481	77,710				2025年3月	～	2025年5月	90,580	144,930
2025年9月							2025年4月	～	2025年6月	84,690	135,500
2025年10月							2025年5月	～	2025年7月	81,820	130,910
2025年11月							2025年6月	～	2025年8月	79,860	127,780
2025年12月							2025年7月	～	2025年9月		

2025年度
第3回業務委員会
資料№15

（フリートーク）ガス事業環境整備ＷＧへの対応

1. 業務関係で要望すべきことはありますか？
   - （例）経過措置料金指定は解除して欲しい
   - （例）供給計画の報告項目は更に削減して欲しい。
   -
   -
   -

2. 保安技術関係で要望すべきことはありますか？
   -
   -
   -
   -
   -

3. コミュニティーガス事業をめぐる制度として要望すべきことはありますか？
   -
   -
   -

4. コミュニティーガス事業をめぐる制度として堅持すべきことはありますか？
   -
   -
   -

5. その他
   -
   -
   -

以上

2025年度
第3回業務委員会
資料№16-1

2025年4月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/8/1

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）
北海道	345	343	2	0.6%	141,374	141,276	98	0.1%	97,735	97,914	▲ 179	▲0.2%	79,718	80,577	▲ 859	▲1.1%	78,467	79,303	▲ 836	▲1.1%
東北	591	595	▲ 4	▲0.7%	151,363	152,128	▲ 765	▲0.5%	113,452	113,722	▲ 270	▲0.2%	90,079	91,075	▲ 996	▲1.1%	88,892	89,865	▲ 973	▲1.1%
関東	2,018	2,027	▲ 9	▲0.4%	518,392	519,764	▲ 1,372	▲0.3%	372,483	374,048	▲ 1,565	▲0.4%	314,296	317,074	▲ 2,778	▲0.9%	311,182	313,939	▲ 2,757	▲0.9%
中部	657	656	1	0.2%	176,548	176,739	▲ 191	▲0.1%	127,462	128,137	▲ 675	▲0.5%	107,575	108,159	▲ 584	▲0.5%	106,817	107,402	▲ 585	▲0.5%
北陸	269	270	▲ 1	▲0.4%	57,902	58,200	▲ 298	▲0.5%	36,904	37,171	▲ 267	▲0.7%	28,150	28,381	▲ 231	▲0.8%	27,919	28,138	▲ 219	▲0.8%
近畿	968	981	▲ 13	▲1.3%	204,559	211,318	▲ 6,759	▲3.2%	153,490	154,641	▲ 1,151	▲0.7%	116,689	118,715	▲ 2,026	▲1.7%	115,942	117,970	▲ 2,028	▲1.7%
中国	590	591	▲ 1	▲0.2%	134,964	135,115	▲ 151	▲0.1%	92,125	92,378	▲ 253	▲0.3%	73,141	73,510	▲ 369	▲0.5%	72,719	73,083	▲ 364	▲0.5%
四国	356	354	2	0.6%	72,646	72,476	170	0.2%	57,083	56,923	160	0.3%	41,844	42,139	▲ 295	▲0.7%	41,756	42,048	▲ 292	▲0.7%
九州	1,193	1,185	8	0.7%	304,151	303,587	564	0.2%	228,560	228,217	343	0.2%	187,701	188,781	▲ 1,080	▲0.6%	186,677	187,741	▲ 1,064	▲0.6%
沖縄	217	217	0	0.0%	36,341	36,081	260	0.7%	35,650	35,610	40	0.1%	31,885	31,439	446	1.4%	31,861	31,415	446	1.4%
全国	7,204	7,219	▲ 15	▲0.2%	1,798,240	1,806,684	▲ 8,444	▲0.5%	1,314,944	1,318,761	▲ 3,817	▲0.3%	1,071,078	1,079,850	▲ 8,772	▲0.8%	1,062,232	1,070,904	▲ 8,672	▲0.8%

※新規地点群　地点群…　　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比（%）
北海道	567,864	97,234	665,098	514,968	82,670	597,638	52,896	10.3%	14,564	17.6%	67,460	11.3%	7.2	6.5	0.7	10.8%
東北	817,044	106,908	923,952	783,958	96,075	880,033	33,086	4.2%	10,833	11.3%	43,919	5.0%	9.2	8.7	0.5	5.7%
関東	3,134,458	264,909	3,399,367	3,089,622	254,828	3,344,450	44,836	1.5%	10,081	4.0%	54,917	1.6%	10.1	9.8	0.3	3.1%
中部	1,108,409	47,268	1,155,677	1,106,845	48,398	1,155,243	1,564	0.1%	▲ 1,130	▲2.3%	434	0.0%	10.4	10.3	0.1	1.0%
北陸	218,797	23,985	242,782	207,535	24,696	232,231	11,262	5.4%	▲ 711	▲2.9%	10,551	4.5%	7.8	7.4	0.4	5.4%
近畿	1,099,102	47,072	1,146,174	1,086,433	46,936	1,133,369	12,669	1.2%	136	0.3%	12,805	1.1%	9.5	9.2	0.3	3.3%
中国	663,872	19,301	683,173	648,844	18,845	667,689	15,028	2.3%	456	2.4%	15,484	2.3%	9.1	8.9	0.2	2.2%
四国	333,868	4,806	338,674	333,658	4,459	338,117	210	0.1%	347	7.8%	557	0.2%	8.0	7.9	0.1	1.3%
九州	1,552,459	60,013	1,612,472	1,508,672	60,529	1,569,201	43,787	2.9%	▲ 516	▲0.9%	43,271	2.8%	8.3	8.0	0.3	3.8%
沖縄	202,457	1,263	203,720	170,320	1,317	171,637	32,137	18.9%	▲ 54	▲4.1%	32,083	18.7%	6.4	5.4	1.0	18.5%
全国	9,698,330	672,759	10,371,089	9,450,855	638,753	10,089,608	247,475	2.6%	34,006	5.3%	281,481	2.8%	9.1	8.8	0.3	3.4%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	14.9℃	0.7℃
仙台	16.2℃	▲1.6℃
東京	19.2℃	▲0.8℃
名古屋	19.7℃	0.0℃
富山	17.7℃	▲0.2℃
大阪	20.1℃	0.7℃
広島	19.6℃	0.0℃
高松	19.8℃	0.5℃
福岡	19.6℃	▲0.6℃
那覇	24.4℃	▲0.3℃
全国	19.1℃	−0.2℃

参考　2025年5月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,278	27,067	211	0.8%
	商業用他	1,196	1,194	2	0.1%
	計	28,473	28,261	212	0.8%

		当月	前年同月	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	761,138	735,063	26,075	3.5%
	商業用他	1,968,628	1,999,602	▲ 30,973	▲1.5%
	計	2,729,766	2,734,665	▲ 4,899	▲0.2%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年4月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-5月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	690	686	4	0.6%	282,741	282,557	184	0.1%	195,485	195,970	▲ 485	▲0.2%	159,390	161,249	▲ 1,859	▲1.2%	156,881	158,692	▲ 1,811	▲ 1.1%
東北	1,183	1,190	▲ 7	▲0.6%	302,796	304,259	▲ 1,463	▲0.5%	226,950	227,479	▲ 529	▲0.2%	180,273	182,157	▲ 1,884	▲1.0%	177,895	179,751	▲ 1,856	▲ 1.0%
関東	4,036	4,055	▲ 19	▲0.5%	1,036,819	1,039,253	▲ 2,434	▲0.2%	745,064	748,005	▲ 2,941	▲0.4%	628,552	634,216	▲ 5,664	▲0.9%	622,309	627,958	▲ 5,649	▲ 0.9%
中部	1,314	1,313	1	0.1%	353,096	353,544	▲ 448	▲0.1%	254,958	256,365	▲ 1,407	▲0.5%	215,143	216,400	▲ 1,257	▲0.6%	213,640	214,878	▲ 1,238	▲ 0.6%
北陸	538	540	▲ 2	▲0.4%	115,804	116,326	▲ 522	▲0.4%	73,832	74,544	▲ 712	▲1.0%	56,472	56,902	▲ 430	▲0.8%	56,004	56,415	▲ 411	▲ 0.7%
近畿	1,936	1,964	▲ 28	▲1.4%	409,122	423,192	▲ 14,070	▲3.3%	306,991	309,309	▲ 2,318	▲0.7%	233,581	237,732	▲ 4,151	▲1.7%	232,088	236,216	▲ 4,128	▲ 1.7%
中国	1,181	1,182	▲ 1	▲0.1%	270,008	270,228	▲ 220	▲0.1%	184,363	184,784	▲ 421	▲0.2%	146,325	147,314	▲ 989	▲0.7%	145,481	146,458	▲ 977	▲ 0.7%
四国	712	707	5	0.7%	145,289	144,838	451	0.3%	114,168	113,738	430	0.4%	83,734	84,182	▲ 448	▲0.5%	83,556	84,000	▲ 444	▲ 0.5%
九州	2,385	2,370	15	0.6%	608,259	607,178	1,081	0.2%	457,171	456,594	577	0.1%	375,438	377,630	▲ 2,192	▲0.6%	373,380	375,543	▲ 2,163	▲ 0.6%
沖縄	434	433	1	0.2%	72,621	72,072	549	0.8%	71,239	71,127	112	0.2%	63,594	62,794	800	1.3%	63,546	62,746	800	1.3%
全国	14,409	14,440	▲ 31	▲0.2%	3,596,555	3,613,447	▲ 16,892	▲0.5%	2,630,221	2,637,915	▲ 7,694	▲0.3%	2,142,502	2,160,576	▲ 18,074	▲0.8%	2,124,780	2,142,657	▲ 17,877	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年度累計(4月-5月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-5月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	1,374,627	256,545	1,631,172	1,278,546	226,421	1,504,967	96,081	7.5%	30,124	13.3%	126,205	8.4%	8.8	8.1	0.7	8.6%
東北	1,799,323	256,315	2,055,638	1,774,339	239,742	2,014,081	24,984	1.4%	16,573	6.9%	41,557	2.1%	10.1	9.9	0.2	2.0%
関東	7,204,169	642,578	7,846,747	7,296,757	622,461	7,919,218	▲ 92,588	▲1.3%	20,117	3.2%	▲ 72,471	▲0.9%	11.6	11.6	0.0	0.0%
中部	2,494,398	109,382	2,603,780	2,542,831	112,566	2,655,397	▲ 48,433	▲1.9%	▲ 3,184	▲2.8%	▲ 51,617	▲1.9%	11.7	11.8	▲ 0.1	▲0.8%
北陸	487,658	49,981	537,639	484,332	54,942	539,274	3,326	0.7%	▲ 4,961	▲9.0%	▲ 1,635	▲0.3%	8.7	8.6	0.1	1.2%
近畿	2,493,878	101,649	2,595,527	2,578,194	105,356	2,683,550	▲ 84,316	▲3.3%	▲ 3,707	▲3.5%	▲ 88,023	▲3.3%	10.7	10.9	▲ 0.2	▲1.8%
中国	1,517,989	50,029	1,568,018	1,513,019	47,955	1,560,974	4,970	0.3%	2,074	4.3%	7,044	0.5%	10.4	10.3	0.1	1.0%
四国	752,599	10,105	762,704	758,252	9,330	767,582	▲ 5,653	▲0.7%	775	8.3%	▲ 4,878	▲0.6%	9.0	9.0	0.0	0.0%
九州	3,500,403	132,871	3,633,274	3,419,490	129,856	3,549,346	80,913	2.4%	3,015	2.3%	83,928	2.4%	9.4	9.1	0.3	3.3%
沖縄	441,278	2,503	443,781	379,821	2,627	382,448	61,457	16.2%	▲ 124	▲4.7%	61,333	16.0%	6.9	6.1	0.8	13.1%
全国	22,066,322	1,611,958	23,678,280	22,025,581	1,551,256	23,576,837	40,741	0.2%	60,702	3.9%	101,443	0.4%	10.4	10.3	0.1	1.0%

2025年度累計(4月-5月) 平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	11.7℃	▲0.6℃
仙台	14.1℃	▲2.2℃
東京	17.4℃	▲1.2℃
名古屋	17.7℃	▲0.9℃
富山	15.5℃	▲0.6℃
大阪	18.0℃	▲0.6℃
広島	17.6℃	▲1.0℃
高松	17.7℃	▲0.6℃
福岡	17.9℃	▲1.0℃
那覇	22.5℃	▲1.9℃
全国	17.0℃	▲ 1.1

参考　2025年度(4月-5月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

		当年4月－5月	前年同期	増　減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	54,554	54,131	424	0.8%
	商業用他	2,396	2,393	3	0.1%
	計	56,951	56,524	427	0.8%

出典：経産省iP

		当年4月－5月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	1,733,409	1,711,774	21,634	1.3%
	商業用他	4,107,262	4,151,646	▲ 44,384	▲ 1.1%
	計	5,840,670	5,863,420	▲ 22,750	▲ 0.4%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-5月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-5	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-5	前年同期	増減	2025年累計（1月-5月）	2025年累計（1月-5月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-5	2025年累計（1月-5月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-5月）	2025年累計（1月-5月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-5月）
北海道	1,724	1,714	10	0.6%	706,757	706,346	411	0.1%	488,667	490,295	▲ 1,628	▲0.3%	398,584	403,486	▲ 4,902	▲1.2%	392,284	397,041	▲ 4,757	▲ 1.2%
東　北	2,959	2,970	▲ 11	▲0.4%	757,505	760,141	▲ 2,636	▲0.3%	567,567	567,738	▲ 171	▲0.0%	450,651	455,206	▲ 4,555	▲1.0%	444,700	449,053	▲ 4,353	▲ 1.0%
関　東	10,083	10,131	▲ 48	▲0.5%	2,591,416	2,596,496	▲ 5,080	▲0.2%	1,862,922	1,868,218	▲ 5,296	▲0.3%	1,572,430	1,585,444	▲ 13,014	▲0.8%	1,556,835	1,569,777	▲ 12,942	▲ 0.8%
中　部	3,282	3,276	6	0.2%	882,537	883,094	▲ 557	▲0.1%	637,369	640,249	▲ 2,880	▲0.4%	538,102	540,938	▲ 2,836	▲0.5%	534,351	537,112	▲ 2,761	▲ 0.5%
北　陸	1,348	1,350	▲ 2	▲0.1%	289,894	290,762	▲ 868	▲0.3%	184,968	186,774	▲ 1,806	▲1.0%	141,184	141,843	▲ 659	▲0.5%	140,017	140,621	▲ 604	▲ 0.4%
近　畿	4,839	4,912	▲ 73	▲1.5%	1,025,507	1,051,501	▲ 25,994	▲2.5%	767,666	767,826	▲ 160	▲0.0%	584,538	590,244	▲ 5,706	▲1.0%	580,804	586,426	▲ 5,622	▲ 1.0%
中　国	2,944	2,957	▲ 13	▲0.4%	673,732	676,009	▲ 2,277	▲0.3%	459,777	462,122	▲ 2,345	▲0.5%	364,836	369,020	▲ 4,184	▲1.1%	362,717	366,870	▲ 4,153	▲ 1.1%
四　国	1,781	1,763	18	1.0%	363,497	361,655	1,842	0.5%	285,153	283,933	1,220	0.4%	209,406	210,462	▲ 1,056	▲0.5%	208,961	210,005	▲ 1,044	▲ 0.5%
九　州	5,946	5,893	53	0.9%	1,519,646	1,513,307	6,339	0.4%	1,142,260	1,137,422	4,838	0.4%	938,195	942,157	▲ 3,962	▲0.4%	933,025	936,911	▲ 3,886	▲ 0.4%
沖　縄	1,086	1,076	10	0.9%	181,277	179,554	1,723	1.0%	177,826	177,190	636	0.4%	158,664	156,597	2,067	1.3%	158,544	156,477	2,067	1.3%
全　国	35,992	36,042	▲ 50	▲0.1%	8,991,768	9,018,865	▲ 27,097	▲0.3%	6,574,175	6,581,767	▲ 7,592	▲0.1%	5,356,590	5,395,397	▲ 38,807	▲0.7%	5,312,238	5,350,293	▲ 38,055	▲ 0.7%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年累計(1月-5月)			前年同月累計			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-5月）	前年同月累計	増　減	前年比（%）
北海道	4,370,067	900,909	5,270,976	4,456,139	852,673	5,308,812	▲ 86,072	▲1.9%	48,236	5.7%	▲ 37,836	▲0.7%	11.0	11.0	0.0	0.0%
東　北	4,948,091	870,515	5,818,606	4,968,181	827,539	5,795,720	▲ 20,090	▲0.4%	42,976	5.2%	22,886	0.4%	11.0	10.9	0.1	0.9%
関　東	21,091,343	2,126,153	23,217,496	21,268,443	1,990,855	23,259,298	▲ 177,100	▲0.8%	135,298	6.8%	▲ 41,802	▲0.2%	13.4	13.4	0.0	0.0%
中　部	7,520,269	339,079	7,859,348	7,549,437	342,115	7,891,552	▲ 29,168	▲0.4%	▲ 3,036	▲0.9%	▲ 32,204	▲0.4%	14.0	14.0	0.0	0.0%
北　陸	1,391,319	150,856	1,542,175	1,376,330	156,495	1,532,825	14,989	1.1%	▲ 5,639	▲3.6%	9,350	0.6%	9.9	9.7	0.2	2.1%
近　畿	7,279,002	292,988	7,571,990	7,322,745	303,814	7,626,559	▲ 43,743	▲0.6%	▲ 10,826	▲3.6%	▲ 54,569	▲0.7%	12.5	12.4	0.1	0.8%
中　国	4,560,655	190,220	4,750,875	4,535,054	181,793	4,716,847	25,601	0.6%	8,427	4.6%	34,028	0.7%	12.5	12.3	0.2	1.6%
四　国	2,210,944	28,939	2,239,883	2,208,105	27,253	2,235,358	2,839	0.1%	1,686	6.2%	4,525	0.2%	10.6	10.5	0.1	1.0%
九　州	10,364,124	394,876	10,759,000	10,168,633	374,435	10,543,068	195,491	1.9%	20,441	5.5%	215,932	2.0%	11.0	10.8	0.2	1.9%
沖　縄	1,202,014	5,855	1,207,869	1,087,781	6,338	1,094,119	114,233	10.5%	▲ 483	▲7.6%	113,750	10.4%	7.6	6.9	0.7	10.1%
全　国	64,937,828	5,300,390	70,238,218	64,940,848	5,063,310	70,004,158	▲ 3,020	▲0.0%	237,080	4.7%	234,060	0.3%	12.1	12.0	0.1	0.8%

2025年累計（1月-5月）平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	4.7℃	0.3℃
仙台	8.3℃	▲1.2℃
東京	11.7℃	▲0.6℃
名古屋	11.2℃	▲0.9℃
富山	9.1℃	▲0.7℃
大阪	11.8℃	▲0.6℃
広島	11.1℃	▲1.2℃
高松	11.4℃	▲0.8℃
福岡	12.0℃	▲1.5℃
那覇	19.4℃	▲1.7℃
全国	11.1℃	▲0.9℃

参考　2025年(1月－5月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年1月－5月	前年同期	増　減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	135,999	134,906	1,093	0.8%
	商業用他	5,989	5,994	▲ 5	▲ 0.1%
	計	141,988	140,899	1,089	0.8%

		当年1月－5月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	5,086,916	5,362,632	▲ 275,716	▲ 5.1%
	商業用他	11,444,957	12,021,962	▲ 577,005	▲ 4.8%
	計	16,531,873	17,384,594	▲ 852,721	▲ 4.9%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年6月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/10/3

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	345	343	2	0.6%	141,389	141,242	147	0.1%	97,704	97,855	▲ 151	▲0.2%	79,435	80,271	▲ 836	▲1.0%	78,189	79,015	▲ 826	▲1.0%
東北	591	595	▲ 4	▲0.7%	151,364	152,161	▲ 797	▲0.5%	113,435	113,727	▲ 292	▲0.3%	89,861	90,983	▲ 1,122	▲1.2%	88,670	89,778	▲ 1,108	▲1.2%
関東	2,018	2,027	▲ 9	▲0.4%	518,486	519,615	▲ 1,129	▲0.2%	372,321	373,893	▲ 1,572	▲0.4%	313,626	316,633	▲ 3,007	▲0.9%	310,516	313,508	▲ 2,992	▲1.0%
中部	657	657	0	0.0%	176,548	176,894	▲ 346	▲0.2%	127,450	128,258	▲ 808	▲0.6%	107,411	108,043	▲ 632	▲0.6%	106,651	107,287	▲ 636	▲0.6%
北陸	269	270	▲ 1	▲0.4%	57,902	58,126	▲ 224	▲0.4%	36,893	37,318	▲ 425	▲1.1%	28,174	28,491	▲ 317	▲1.1%	27,933	28,248	▲ 315	▲1.1%
近畿	967	981	▲ 14	▲1.4%	204,038	211,146	▲ 7,108	▲3.4%	153,279	154,574	▲ 1,295	▲0.8%	116,253	118,499	▲ 2,246	▲1.9%	115,539	117,769	▲ 2,230	▲1.9%
中国	588	591	▲ 3	▲0.5%	134,786	135,116	▲ 330	▲0.2%	91,980	92,360	▲ 380	▲0.4%	72,978	73,562	▲ 584	▲0.8%	72,557	73,134	▲ 577	▲0.8%
四国	356	354	2	0.6%	72,620	72,474	146	0.2%	57,054	56,920	134	0.2%	41,755	42,079	▲ 324	▲0.8%	41,667	41,989	▲ 322	▲0.8%
九州	1,194	1,185	9	0.8%	304,311	303,673	638	0.2%	228,675	228,415	260	0.1%	187,247	188,324	▲ 1,077	▲0.6%	186,248	187,309	▲ 1,061	▲0.6%
沖縄	217	217	0	0.0%	36,341	36,079	262	0.7%	35,647	35,607	40	0.1%	31,936	30,794	1,142	3.7%	31,912	30,770	1,142	3.7%
全国	7,202	7,220	▲ 18	▲0.2%	1,797,785	1,806,526	▲ 8,741	▲0.5%	1,314,438	1,318,927	▲ 4,489	▲0.3%	1,068,676	1,077,679	▲ 9,003	▲0.8%	1,059,882	1,068,807	▲ 8,925	▲0.8%

※新規地点群　地点群…　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	393,164	58,899	452,063	393,958	60,641	454,599	▲ 794	▲0.2%	▲ 1,742	▲2.9%	▲ 2,536	▲0.6%	5.0	5.0	0.0	0.0%
東北	696,704	114,913	811,617	687,179	101,537	788,716	9,525	1.4%	13,376	13.2%	22,901	2.9%	7.9	7.7	0.2	2.6%
関東	2,621,993	239,138	2,861,131	2,578,116	232,736	2,810,852	43,877	1.7%	6,402	2.8%	50,279	1.8%	8.4	8.2	0.2	2.4%
中部	848,911	46,800	895,711	858,457	46,497	904,954	▲ 9,546	▲1.1%	303	0.7%	▲ 9,243	▲1.0%	8.0	8.0	0.0	0.0%
北陸	173,622	28,521	202,143	180,388	26,850	207,238	▲ 6,766	▲3.8%	1,671	6.2%	▲ 5,095	▲2.5%	6.2	6.4	▲ 0.2	▲3.1%
近畿	900,879	46,842	947,721	921,009	46,307	967,316	▲ 20,130	▲2.2%	535	1.2%	▲ 19,595	▲2.0%	7.8	7.8	0.0	0.0%
中国	529,841	19,864	549,705	531,291	20,268	551,559	▲ 1,450	▲0.3%	▲ 404	▲2.0%	▲ 1,854	▲0.3%	7.3	7.3	0.0	0.0%
四国	281,529	5,886	287,415	284,417	5,521	289,938	▲ 2,888	▲1.0%	365	6.6%	▲ 2,523	▲0.9%	6.8	6.8	0.0	0.0%
九州	1,273,686	68,957	1,342,643	1,251,347	68,405	1,319,752	22,339	1.8%	552	0.8%	22,891	1.7%	6.8	6.7	0.1	1.5%
沖縄	164,221	1,442	165,663	159,920	1,431	161,351	4,301	2.7%	11	0.8%	4,312	2.7%	5.1	5.2	▲ 0.1	▲1.9%
全国	7,884,550	631,262	8,515,812	7,846,082	610,193	8,456,275	38,468	0.5%	21,069	3.5%	59,537	0.7%	7.4	7.3	0.1	1.4%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	14.9℃	0.7℃
仙台	16.2℃	▲1.6℃
東京	19.2℃	▲0.8℃
名古屋	19.7℃	0.0℃
富山	17.7℃	▲0.2℃
大阪	20.1℃	0.7℃
広島	19.6℃	0.0℃
高松	19.8℃	0.5℃
福岡	19.6℃	▲0.6℃
那覇	24.4℃	▲0.3℃
全国	19.1℃	−0.2℃

参考　2025年6月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,269	27,059	210	0.8%
	商業用他	1,192	1,190	2	0.2%
	計	28,461	28,249	212	0.8%

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	555,779	537,789	17,990	3.3%
	商業用他	2,276,591	2,118,096	158,495	7.5%
	計	2,832,370	2,655,885	176,485	6.6%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年6月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-6月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	1,035	1,029	6	0.6%	424,130	423,799	331	0.1%	293,189	293,825	▲ 636	▲0.2%	238,825	241,520	▲ 2,695	▲1.1%	235,070	237,707	▲ 2,637	▲ 1.1%
東北	1,774	1,785	▲ 11	▲0.6%	454,160	456,420	▲ 2,260	▲0.5%	340,385	341,206	▲ 821	▲0.2%	270,134	273,140	▲ 3,006	▲1.1%	266,565	269,529	▲ 2,964	▲ 1.1%
関東	6,054	6,082	▲ 28	▲0.5%	1,555,305	1,558,868	▲ 3,563	▲0.2%	1,117,385	1,121,898	▲ 4,513	▲0.4%	942,178	950,849	▲ 8,671	▲0.9%	932,825	941,466	▲ 8,641	▲ 0.9%
中部	1,971	1,970	1	0.1%	529,644	530,438	▲ 794	▲0.1%	382,408	384,623	▲ 2,215	▲0.6%	322,554	324,443	▲ 1,889	▲0.6%	320,291	322,165	▲ 1,874	▲ 0.6%
北陸	807	810	▲ 3	▲0.4%	173,706	174,452	▲ 746	▲0.4%	110,725	111,862	▲ 1,137	▲1.0%	84,646	85,393	▲ 747	▲0.9%	83,937	84,663	▲ 726	▲ 0.9%
近畿	2,903	2,945	▲ 42	▲1.4%	613,160	634,338	▲ 21,178	▲3.3%	460,270	463,883	▲ 3,613	▲0.8%	349,834	356,231	▲ 6,397	▲1.8%	347,627	353,985	▲ 6,358	▲ 1.8%
中国	1,769	1,773	▲ 4	▲0.2%	404,794	405,344	▲ 550	▲0.1%	276,343	277,144	▲ 801	▲0.3%	219,303	220,876	▲ 1,573	▲0.7%	218,038	219,592	▲ 1,554	▲ 0.7%
四国	1,068	1,061	7	0.7%	217,909	217,312	597	0.3%	171,222	170,658	564	0.3%	125,489	126,261	▲ 772	▲0.6%	125,223	125,989	▲ 766	▲ 0.6%
九州	3,579	3,555	24	0.7%	912,570	910,851	1,719	0.2%	685,846	685,009	837	0.1%	562,685	565,954	▲ 3,269	▲0.6%	559,628	562,852	▲ 3,224	▲ 0.6%
沖縄	651	650	1	0.2%	108,962	108,151	811	0.7%	106,886	106,734	152	0.1%	95,530	93,588	1,942	2.1%	95,458	93,516	1,942	2.1%
全国	21,611	21,660	▲ 49	▲0.2%	5,394,340	5,419,973	▲ 25,633	▲0.5%	3,944,659	3,956,842	▲ 12,183	▲0.3%	3,211,178	3,238,255	▲ 27,077	▲0.8%	3,184,662	3,211,464	▲ 26,802	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年度累計(4月-6月) 平均気温		
	2025年度累計(4月-6月)			前年同期			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-6月）	前年同期	増減	前年比（%）			前年比
北海道	1,767,791	315,444	2,083,235	1,672,504	287,062	1,959,566	95,287	5.7%	28,382	9.9%	123,669	6.3%	7.5	7.0	0.5	7.1%	札幌	14.7℃	0.1℃
東北	2,496,027	371,228	2,867,255	2,461,518	341,279	2,802,797	34,509	1.4%	29,949	8.8%	64,458	2.3%	9.4	9.1	0.3	3.3%	仙台	17.0℃	▲1.0℃
関東	9,826,162	881,716	10,707,878	9,874,873	855,197	10,730,070	▲ 48,711	▲0.5%	26,519	3.1%	▲ 22,192	▲0.2%	10.5	10.5	0.0	0.0%	東京	19.8℃	▲0.2℃
中部	3,343,309	156,182	3,499,491	3,401,288	159,063	3,560,351	▲ 57,979	▲1.7%	▲ 2,881	▲1.8%	▲ 60,860	▲1.7%	10.4	10.6	▲ 0.2	▲1.9%	名古屋	20.1℃	▲0.2℃
北陸	661,280	78,502	739,782	664,720	81,792	746,512	▲ 3,440	▲0.5%	▲ 3,290	▲4.0%	▲ 6,730	▲0.9%	7.9	7.9	0.0	0.0%	富山	18.1℃	▲0.3℃
近畿	3,394,757	148,491	3,543,248	3,499,203	151,663	3,650,866	▲ 104,446	▲3.0%	▲ 3,172	▲2.1%	▲ 107,618	▲2.9%	9.8	9.9	▲ 0.1	▲1.0%	大阪	20.5℃	0.1℃
中国	2,047,830	69,893	2,117,723	2,044,310	68,223	2,112,533	3,520	0.2%	1,670	2.4%	5,190	0.2%	9.4	9.3	0.1	1.1%	広島	19.9℃	▲0.3℃
四国	1,034,128	15,991	1,050,119	1,042,669	14,851	1,057,520	▲ 8,541	▲0.8%	1,140	7.7%	▲ 7,401	▲0.7%	8.3	8.3	0.0	0.0%	高松	20.2℃	0.1℃
九州	4,774,089	201,828	4,975,917	4,670,837	198,261	4,869,098	103,252	2.2%	3,567	1.8%	106,819	2.2%	8.5	8.3	0.2	2.4%	福岡	20.3℃	▲0.3℃
沖縄	605,499	3,945	609,444	539,741	4,058	543,799	65,758	12.2%	▲ 113	▲2.8%	65,645	12.1%	6.3	5.8	0.5	8.6%	那覇	24.5℃	▲0.7℃
全国	29,950,872	2,243,220	32,194,092	29,871,663	2,161,449	32,033,112	79,209	0.3%	81,771	3.8%	160,980	0.5%	9.4	9.3	0.1	1.1%	全国	19.5℃	▲ 0.3

参考　2025年度(4月-6月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年4月－6月	前年同期	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	81,824	81,190	634	0.8%
	商業用他	3,588	3,583	5	0.1%
	計	85,412	84,773	639	0.8%

		当年4月－6月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	2,289,188	2,249,563	39,624	1.8%
	商業用他	6,383,852	6,269,742	114,111	1.8%
	計	8,673,040	8,519,305	153,735	1.8%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-6月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課 簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-6	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-6	前年同期	増減	2025年累計（1月-6月）	2025年累計（1月-6月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-6	2025年累計（1月-6月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-6月）	2025年累計（1月-6月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-6月）
北海道	2,069	2,057	12	0.6%	848,146	847,588	558	0.1%	586,371	588,150	▲ 1,779	▲0.3%	478,019	483,757	▲ 5,738	▲1.2%	470,473	476,056	▲ 5,583	▲ 1.2%
東北	3,550	3,565	▲ 15	▲0.4%	908,869	912,302	▲ 3,433	▲0.4%	681,002	681,465	▲ 463	▲0.1%	540,512	546,189	▲ 5,677	▲1.0%	533,370	538,831	▲ 5,461	▲ 1.0%
関東	12,101	12,158	▲ 57	▲0.5%	3,109,902	3,116,111	▲ 6,209	▲0.2%	2,235,243	2,242,111	▲ 6,868	▲0.3%	1,886,056	1,902,077	▲ 16,021	▲0.8%	1,867,351	1,883,285	▲ 15,934	▲ 0.8%
中部	3,939	3,933	6	0.2%	1,059,085	1,059,988	▲ 903	▲0.1%	764,819	768,507	▲ 3,688	▲0.5%	645,513	648,981	▲ 3,468	▲0.5%	641,002	644,399	▲ 3,397	▲ 0.5%
北陸	1,617	1,620	▲ 3	▲0.2%	347,796	348,888	▲ 1,092	▲0.3%	221,861	224,092	▲ 2,231	▲1.0%	169,358	170,334	▲ 976	▲0.6%	167,950	168,869	▲ 919	▲ 0.5%
近畿	5,806	5,893	▲ 87	▲1.5%	1,229,545	1,262,647	▲ 33,102	▲2.6%	920,945	922,400	▲ 1,455	▲0.2%	700,791	708,743	▲ 7,952	▲1.1%	696,343	704,195	▲ 7,852	▲ 1.1%
中国	3,532	3,548	▲ 16	▲0.5%	808,518	811,125	▲ 2,607	▲0.3%	551,757	554,482	▲ 2,725	▲0.5%	437,814	442,582	▲ 4,768	▲1.1%	435,274	440,004	▲ 4,730	▲ 1.1%
四国	2,137	2,117	20	0.9%	436,117	434,129	1,988	0.5%	342,207	340,853	1,354	0.4%	251,161	252,541	▲ 1,380	▲0.5%	250,628	251,994	▲ 1,366	▲ 0.5%
九州	7,140	7,078	62	0.9%	1,823,957	1,816,980	6,977	0.4%	1,370,935	1,365,837	5,098	0.4%	1,125,442	1,130,481	▲ 5,039	▲0.4%	1,119,273	1,124,220	▲ 4,947	▲ 0.4%
沖縄	1,303	1,293	10	0.8%	217,618	215,633	1,985	0.9%	213,473	212,797	676	0.3%	190,600	187,391	3,209	1.7%	190,456	187,247	3,209	1.7%
全国	43,194	43,262	▲ 68	▲0.2%	10,789,553	10,825,391	▲ 35,838	▲0.3%	7,888,613	7,900,694	▲ 12,081	▲0.2%	6,425,266	6,473,076	▲ 47,810	▲0.7%	6,372,120	6,419,100	▲ 46,980	▲ 0.7%

※新規地点群 累計　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年累計（1月-6月）平均気温		
	2025年累計（1月-6月）			前年同月累計			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-6月）	前年同月累計	増減	前年比（%）			前年比
北海道	4,763,231	959,808	5,723,039	4,850,097	913,314	5,763,411	▲ 86,866	▲1.8%	46,494	5.1%	▲ 40,372	▲0.7%	10.0	10.0	0.0	0.0%	札幌	7.3℃	0.5℃
東北	5,644,795	985,428	6,630,223	5,655,360	929,076	6,584,436	▲ 10,565	▲0.2%	56,352	6.1%	45,787	0.7%	10.4	10.4	0.0	0.0%	仙台	10.8℃	▲0.8℃
関東	23,713,336	2,365,291	26,078,627	23,846,559	2,223,591	26,070,150	▲ 133,223	▲0.6%	141,700	6.4%	8,477	0.0%	12.6	12.5	0.1	0.8%	東京	13.9℃	▲0.3℃
中部	8,369,180	385,879	8,755,059	8,407,894	388,612	8,796,506	▲ 38,714	▲0.5%	▲ 2,733	▲0.7%	▲ 41,447	▲0.5%	13.0	13.0	0.0	0.0%	名古屋	13.5℃	▲0.5℃
北陸	1,564,941	179,377	1,744,318	1,556,718	183,345	1,740,063	8,223	0.5%	▲ 3,968	▲2.2%	4,255	0.2%	9.2	9.1	0.1	1.1%	富山	11.5℃	▲0.5℃
近畿	8,179,881	339,830	8,519,711	8,243,754	350,121	8,593,875	▲ 63,873	▲0.8%	▲ 10,291	▲2.9%	▲ 74,164	▲0.9%	11.7	11.6	0.1	0.9%	大阪	14.1℃	▲0.3℃
中国	5,090,496	210,084	5,300,580	5,066,345	202,061	5,268,406	24,151	0.5%	8,023	4.0%	32,174	0.6%	11.6	11.4	0.2	1.8%	広島	13.4℃	▲0.8℃
四国	2,492,473	34,825	2,527,298	2,492,522	32,774	2,525,296	▲ 49	▲0.0%	2,051	6.3%	2,002	0.1%	9.9	9.9	0.0	0.0%	高松	13.7℃	▲0.4℃
九州	11,637,810	463,833	12,101,643	11,419,980	442,840	11,862,820	217,830	1.9%	20,993	4.7%	238,823	2.0%	10.3	10.1	0.2	2.0%	福岡	14.2℃	▲1.0℃
沖縄	1,366,235	7,297	1,373,532	1,247,701	7,769	1,255,470	118,534	9.5%	▲ 472	▲6.1%	118,062	9.4%	7.2	6.7	0.5	7.5%	那覇	21.0℃	▲1.2℃
全国	72,822,378	5,931,652	78,754,030	72,786,930	5,673,503	78,460,433	35,448	0.0%	258,149	4.6%	293,597	0.4%	11.3	11.2	0.1	0.9%	全国	13.3℃	▲0.5℃

参考　2025年(1月－6月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年1月－6月	前年同期	増　減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	163,268	161,965	1,303	0.8%
	商業用他	7,181	7,184	▲ 3	▲ 0.0%
	計	170,449	169,149	1,301	0.8%

		当年1月－6月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	5,642,695	5,900,421	▲ 257,726	▲ 4.4%
	商業用他	13,721,548	14,140,058	▲ 418,510	▲ 3.0%
	計	19,364,243	20,040,479	▲ 676,236	▲ 3.4%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年7月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/10/3

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	346	343	3	0.9%	141,442	141,215	227	0.2%	97,697	97,802	▲ 105	▲0.1%	79,378	80,233	▲ 855	▲1.1%	78,137	78,987	▲ 850	▲1.1%
東北	591	594	▲ 3	▲0.5%	151,365	152,093	▲ 728	▲0.5%	113,353	113,581	▲ 228	▲0.2%	89,791	90,878	▲ 1,087	▲1.2%	88,604	89,675	▲ 1,071	▲1.2%
関東	2,016	2,027	▲ 11	▲0.5%	518,239	519,632	▲ 1,393	▲0.3%	372,059	373,841	▲ 1,782	▲0.5%	313,520	316,129	▲ 2,609	▲0.8%	310,416	313,024	▲ 2,608	▲0.8%
中部	657	657	0	0.0%	176,549	176,896	▲ 347	▲0.2%	127,428	128,183	▲ 755	▲0.6%	107,343	107,928	▲ 585	▲0.5%	106,580	107,172	▲ 592	▲0.6%
北陸	269	270	▲ 1	▲0.4%	57,902	58,126	▲ 224	▲0.4%	36,892	37,286	▲ 394	▲1.1%	28,218	28,457	▲ 239	▲0.8%	27,976	28,213	▲ 237	▲0.8%
近畿	962	976	▲ 14	▲1.4%	203,137	209,022	▲ 5,885	▲2.8%	152,958	154,366	▲ 1,408	▲0.9%	116,303	118,197	▲ 1,894	▲1.6%	115,559	117,476	▲ 1,917	▲1.6%
中国	587	592	▲ 5	▲0.8%	134,666	135,150	▲ 484	▲0.4%	91,835	92,371	▲ 536	▲0.6%	72,727	73,499	▲ 772	▲1.1%	72,308	73,071	▲ 763	▲1.0%
四国	356	354	2	0.6%	72,620	72,439	181	0.2%	57,030	56,885	145	0.3%	41,680	42,028	▲ 348	▲0.8%	41,593	41,937	▲ 344	▲0.8%
九州	1,194	1,184	10	0.8%	304,406	303,599	807	0.3%	228,464	228,338	126	0.1%	187,264	188,307	▲ 1,043	▲0.6%	186,243	187,270	▲ 1,027	▲0.5%
沖縄	217	217	0	0.0%	36,341	36,080	261	0.7%	35,648	35,609	39	0.1%	31,212	31,499	▲ 287	▲0.9%	31,188	31,475	▲ 287	▲0.9%
全国	7,195	7,214	▲ 19	▲0.3%	1,796,667	1,804,252	▲ 7,585	▲0.4%	1,313,364	1,318,262	▲ 4,898	▲0.4%	1,067,436	1,077,155	▲ 9,719	▲0.9%	1,058,604	1,068,300	▲ 9,696	▲0.9%

※新規地点群　地点群…　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	292,717	68,818	361,535	313,037	59,762	372,799	▲ 20,320	▲6.5%	9,056	15.2%	▲ 11,264	▲3.0%	3.7	4.0	▲ 0.3	▲7.5%
東北	495,465	133,984	629,449	523,944	122,449	646,393	▲ 28,479	▲5.4%	11,535	9.4%	▲ 16,944	▲2.6%	5.6	5.8	▲ 0.2	▲3.4%
関東	1,820,411	222,717	2,043,128	1,984,425	221,537	2,205,962	▲ 164,014	▲8.3%	1,180	0.5%	▲ 162,834	▲7.4%	5.9	6.3	▲ 0.4	▲6.3%
中部	593,764	48,051	641,815	673,472	50,217	723,689	▲ 79,708	▲11.8%	▲ 2,166	▲4.3%	▲ 81,874	▲11.3%	5.6	6.3	▲ 0.7	▲11.1%
北陸	139,034	29,767	168,801	132,946	26,838	159,784	6,088	4.6%	2,929	10.9%	9,017	5.6%	5.0	4.7	0.3	6.4%
近畿	621,829	44,152	665,981	671,810	45,816	717,626	▲ 49,981	▲7.4%	▲ 1,664	▲3.6%	▲ 51,645	▲7.2%	5.4	5.7	▲ 0.3	▲5.3%
中国	361,327	30,438	391,765	396,358	28,871	425,229	▲ 35,031	▲8.8%	1,567	5.4%	▲ 33,464	▲7.9%	5.0	5.4	▲ 0.4	▲7.4%
四国	198,760	7,303	206,063	223,300	7,048	230,348	▲ 24,540	▲11.0%	255	3.6%	▲ 24,285	▲10.5%	4.8	5.3	▲ 0.5	▲9.4%
九州	913,764	83,411	997,175	982,489	82,780	1,065,269	▲ 68,725	▲7.0%	631	0.8%	▲ 68,094	▲6.4%	4.9	5.2	▲ 0.3	▲5.8%
沖縄	130,133	1,613	131,746	129,879	1,670	131,549	254	0.2%	▲ 57	▲3.4%	197	0.1%	4.2	4.1	0.1	2.4%
全国	5,567,204	670,254	6,237,458	6,031,660	646,988	6,678,648	▲ 464,456	▲7.7%	23,266	3.6%	▲ 441,190	▲6.6%	5.3	5.6	▲ 0.3	▲5.4%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	25.8℃	2.5℃
仙台	27.2℃	3.9℃
東京	28.4℃	5.1℃
名古屋	29.4℃	6.1℃
富山	29.2℃	5.9℃
大阪	30.2℃	6.9℃
広島	29.8℃	6.5℃
高松	30.3℃	7.0℃
福岡	30.0℃	6.7℃
那覇	29.0℃	5.7℃
全国	28.9℃	5.6℃

参考　2025年7月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,273	27,067	206	0.8%
	商業用他	1,190	1,188	2	0.1%
	計	28,463	28,255	208	0.7%

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	404,302	435,044	▲ 30,742	▲7.1%
	商業用他	2,641,409	2,676,794	▲ 35,385	▲1.3%
	計	3,045,711	3,111,838	▲ 66,127	▲2.1%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年7月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-7月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	1,381	1,372	9	0.7%	565,572	565,014	558	0.1%	390,886	391,627	▲ 741	▲0.2%	318,203	321,753	▲ 3,550	▲1.1%	313,207	316,694	▲ 3,487	▲ 1.1%
東北	2,365	2,379	▲ 14	▲0.6%	605,525	608,513	▲ 2,988	▲0.5%	453,738	454,787	▲ 1,049	▲0.2%	359,925	364,018	▲ 4,093	▲1.1%	355,169	359,204	▲ 4,035	▲ 1.1%
関東	8,070	8,109	▲ 39	▲0.5%	2,073,544	2,078,500	▲ 4,956	▲0.2%	1,489,444	1,495,739	▲ 6,295	▲0.4%	1,255,698	1,266,978	▲ 11,280	▲0.9%	1,243,241	1,254,490	▲ 11,249	▲ 0.9%
中部	2,628	2,627	1	0.0%	706,193	707,334	▲ 1,141	▲0.2%	509,836	512,806	▲ 2,970	▲0.6%	429,897	432,371	▲ 2,474	▲0.6%	426,871	429,337	▲ 2,466	▲ 0.6%
北陸	1,076	1,080	▲ 4	▲0.4%	231,608	232,578	▲ 970	▲0.4%	147,617	149,148	▲ 1,531	▲1.0%	112,864	113,850	▲ 986	▲0.9%	111,913	112,876	▲ 963	▲ 0.9%
近畿	3,865	3,921	▲ 56	▲1.4%	816,297	843,360	▲ 27,063	▲3.2%	613,228	618,249	▲ 5,021	▲0.8%	466,137	474,428	▲ 8,291	▲1.7%	463,186	471,461	▲ 8,275	▲ 1.8%
中国	2,356	2,365	▲ 9	▲0.4%	539,460	540,494	▲ 1,034	▲0.2%	368,178	369,515	▲ 1,337	▲0.4%	292,030	294,375	▲ 2,345	▲0.8%	290,346	292,663	▲ 2,317	▲ 0.8%
四国	1,424	1,415	9	0.6%	290,529	289,751	778	0.3%	228,252	227,543	709	0.3%	167,169	168,289	▲ 1,120	▲0.7%	166,816	167,926	▲ 1,110	▲ 0.7%
九州	4,773	4,739	34	0.7%	1,216,976	1,214,450	2,526	0.2%	914,310	913,347	963	0.1%	749,949	754,261	▲ 4,312	▲0.6%	745,871	750,122	▲ 4,251	▲ 0.6%
沖縄	868	867	1	0.1%	145,303	144,231	1,072	0.7%	142,534	142,343	191	0.1%	126,742	125,087	1,655	1.3%	126,646	124,991	1,655	1.3%
全国	28,806	28,874	▲ 68	▲0.2%	7,191,007	7,224,225	▲ 33,218	▲0.5%	5,258,023	5,275,104	▲ 17,081	▲0.3%	4,278,614	4,315,410	▲ 36,796	▲0.9%	4,243,266	4,279,764	▲ 36,498	▲ 0.9%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年度累計(4月-7月) 平均気温		
	2025年度累計(4月-7月)			前年同期			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-7月）	前年同期	増減	前年比（%）			前年比
北海道	2,060,508	384,262	2,444,770	1,985,541	346,824	2,332,365	74,967	3.8%	37,438	10.8%	112,405	4.8%	6.6	6.3	0.3	4.8%	札幌	17.5℃	0.7℃
東北	2,991,492	505,212	3,496,704	2,985,462	463,728	3,449,190	6,030	0.2%	41,484	8.9%	47,514	1.4%	8.4	8.3	0.1	1.2%	仙台	19.6℃	▲0.5℃
関東	11,646,573	1,104,433	12,751,006	11,859,298	1,076,734	12,936,032	▲ 212,725	▲1.8%	27,699	2.6%	▲ 185,026	▲1.4%	9.4	9.5	▲ 0.1	▲1.1%	東京	22.0℃	▲0.3℃
中部	3,937,073	204,233	4,141,306	4,074,760	209,280	4,284,040	▲ 137,687	▲3.4%	▲ 5,047	▲2.4%	▲ 142,734	▲3.3%	9.2	9.5	▲ 0.3	▲3.2%	名古屋	22.4℃	▲0.2℃
北陸	800,314	108,269	908,583	797,666	108,630	906,296	2,648	0.3%	▲ 361	▲0.3%	2,287	0.3%	7.2	7.1	0.1	1.4%	富山	20.9℃	0.1℃
近畿	4,016,586	192,643	4,209,229	4,171,013	197,479	4,368,492	▲ 154,427	▲3.7%	▲ 4,836	▲2.4%	▲ 159,263	▲3.6%	8.7	8.8	▲ 0.1	▲1.1%	大阪	22.9℃	0.2℃
中国	2,409,157	100,331	2,509,488	2,440,668	97,094	2,537,762	▲ 31,511	▲1.3%	3,237	3.3%	▲ 28,274	▲1.1%	8.3	8.3	0.0	0.0%	広島	22.4℃	0.0℃
四国	1,232,888	23,294	1,256,182	1,265,969	21,899	1,287,868	▲ 33,081	▲2.6%	1,395	6.4%	▲ 31,686	▲2.5%	7.4	7.5	▲ 0.1	▲1.3%	高松	22.7℃	0.3℃
九州	5,687,853	285,239	5,973,092	5,653,326	281,041	5,934,367	34,527	0.6%	4,198	1.5%	38,725	0.7%	7.6	7.5	0.1	1.3%	福岡	22.7℃	▲0.2℃
沖縄	735,632	5,558	741,190	669,620	5,728	675,348	66,012	9.9%	▲ 170	▲3.0%	65,842	9.7%	5.8	5.4	0.4	7.4%	那覇	25.6℃	▲0.9℃
全国	35,518,076	2,913,474	38,431,550	35,903,323	2,808,437	38,711,760	▲ 385,247	▲1.1%	105,037	3.7%	▲ 280,210	▲0.7%	8.4	8.4	0.0	0.0%	全国	21.9℃	▲ 0.1

参考　2025年度(4月-7月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

		当年4月－7月	前年同期	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	109,097	108,256	840	0.8%
	商業用他	4,778	4,772	7	0.1%
	計	113,875	113,028	847	0.7%

出典：経産省iP

		当年4月－7月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	2,693,490	2,684,607	8,882	0.3%
	商業用他	9,025,261	8,946,535	78,726	0.9%
	計	11,718,751	11,631,143	87,608	0.8%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-7月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-7	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-7	前年同期	増減	2025年累計（1月-7月）	2025年累計（1月-7月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-7	2025年累計（1月-7月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-7月）	2025年累計（1月-7月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-7月）
北海道	2,415	2,400	15	0.6%	989,588	988,803	785	0.1%	684,068	685,952	▲ 1,884	▲0.3%	557,397	563,990	▲ 6,593	▲1.2%	548,610	555,043	▲ 6,433	▲ 1.2%
東北	4,141	4,159	▲ 18	▲0.4%	1,060,234	1,064,395	▲ 4,161	▲0.4%	794,355	795,046	▲ 691	▲0.1%	630,303	637,067	▲ 6,764	▲1.1%	621,974	628,506	▲ 6,532	▲ 1.0%
関東	14,117	14,185	▲ 68	▲0.5%	3,628,141	3,635,743	▲ 7,602	▲0.2%	2,607,302	2,615,952	▲ 8,650	▲0.3%	2,199,576	2,218,206	▲ 18,630	▲0.8%	2,177,767	2,196,309	▲ 18,542	▲ 0.8%
中部	4,596	4,590	6	0.1%	1,235,634	1,236,884	▲ 1,250	▲0.1%	892,247	896,690	▲ 4,443	▲0.5%	752,856	756,909	▲ 4,053	▲0.5%	747,582	751,571	▲ 3,989	▲ 0.5%
北陸	1,886	1,890	▲ 4	▲0.2%	405,698	407,014	▲ 1,316	▲0.3%	258,753	261,378	▲ 2,625	▲1.0%	197,576	198,791	▲ 1,215	▲0.6%	195,926	197,082	▲ 1,156	▲ 0.6%
近畿	6,768	6,869	▲ 101	▲1.5%	1,432,682	1,471,669	▲ 38,987	▲2.6%	1,073,903	1,076,766	▲ 2,863	▲0.3%	817,094	826,940	▲ 9,846	▲1.2%	811,902	821,671	▲ 9,769	▲ 1.2%
中国	4,119	4,140	▲ 21	▲0.5%	943,184	946,275	▲ 3,091	▲0.3%	643,592	646,853	▲ 3,261	▲0.5%	510,541	516,081	▲ 5,540	▲1.1%	507,582	513,075	▲ 5,493	▲ 1.1%
四国	2,493	2,471	22	0.9%	508,737	506,568	2,169	0.4%	399,237	397,738	1,499	0.4%	292,841	294,569	▲ 1,728	▲0.6%	292,221	293,931	▲ 1,710	▲ 0.6%
九州	8,334	8,262	72	0.9%	2,128,363	2,120,579	7,784	0.4%	1,599,399	1,594,175	5,224	0.3%	1,312,706	1,318,788	▲ 6,082	▲0.5%	1,305,516	1,311,490	▲ 5,974	▲ 0.5%
沖縄	1,520	1,510	10	0.7%	253,959	251,713	2,246	0.9%	249,121	248,406	715	0.3%	221,812	218,890	2,922	1.3%	221,644	218,722	2,922	1.3%
全国	50,389	50,476	▲ 87	▲0.2%	12,586,220	12,629,643	▲ 43,423	▲0.3%	9,201,977	9,218,956	▲ 16,979	▲0.2%	7,492,702	7,550,231	▲ 57,529	▲0.8%	7,430,724	7,487,400	▲ 56,676	▲ 0.8%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年累計（1月-7月）平均気温		
	2025年累計（1月-7月）			前年同月累計			前年比										出典：気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-7月）	前年同月累計	増減	前年比（%）			前年比
北海道	5,055,948	1,028,626	6,084,574	5,163,134	973,076	6,136,210	▲ 107,186	▲2.1%	55,550	5.7%	▲ 51,636	▲0.8%	9.1	9.2	▲ 0.1	▲1.1%	札幌	10.0℃	0.8℃
東北	6,140,260	1,119,412	7,259,672	6,179,304	1,051,525	7,230,829	▲ 39,044	▲0.6%	67,887	6.5%	28,843	0.4%	9.7	9.7	0.0	0.0%	仙台	13.1℃	▲0.5℃
関東	25,533,747	2,588,008	28,121,755	25,830,984	2,445,128	28,276,112	▲ 297,237	▲1.2%	142,880	5.8%	▲ 154,357	▲0.5%	11.6	11.6	0.0	0.0%	東京	16.0℃	▲0.3℃
中部	8,962,944	433,930	9,396,874	9,081,366	438,829	9,520,195	▲ 118,422	▲1.3%	▲ 4,899	▲1.1%	▲ 123,321	▲1.3%	11.9	12.0	▲ 0.1	▲0.8%	名古屋	15.8℃	▲0.5℃
北陸	1,703,975	209,144	1,913,119	1,689,664	210,183	1,899,847	14,311	0.8%	▲ 1,039	▲0.5%	13,272	0.7%	8.6	8.5	0.1	1.2%	富山	14.0℃	▲0.2℃
近畿	8,801,710	383,982	9,185,692	8,915,564	395,937	9,311,501	▲ 113,854	▲1.3%	▲ 11,955	▲3.0%	▲ 125,809	▲1.4%	10.8	10.8	0.0	0.0%	大阪	16.4℃	▲0.2℃
中国	5,451,823	240,522	5,692,345	5,462,703	230,932	5,693,635	▲ 10,880	▲0.2%	9,590	4.2%	▲ 1,290	▲0.0%	10.7	10.6	0.1	0.9%	広島	15.7℃	▲0.6℃
四国	2,691,233	42,128	2,733,361	2,715,822	39,822	2,755,644	▲ 24,589	▲0.9%	2,306	5.8%	▲ 22,283	▲0.8%	9.2	9.2	0.0	0.0%	高松	16.1℃	▲0.2℃
九州	12,551,574	547,244	13,098,818	12,402,469	525,620	12,928,089	149,105	1.2%	21,624	4.1%	170,729	1.3%	9.6	9.4	0.2	2.1%	福岡	16.5℃	▲0.9℃
沖縄	1,496,368	8,910	1,505,278	1,377,580	9,439	1,387,019	118,788	8.6%	▲ 529	▲5.6%	118,259	8.5%	6.7	6.3	0.4	6.3%	那覇	22.1℃	▲1.2℃
全国	78,389,582	6,601,906	84,991,488	78,818,590	6,320,491	85,139,081	▲ 429,008	▲0.5%	281,415	4.5%	▲ 147,593	▲0.2%	10.5	10.4	0.1	1.0%	全国	15.6℃	▲0.4℃

参考　2025年(1月－7月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

		当年1月－7月	前年同期	増　減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	190,542	189,032	1,510	0.8%
	商業用他	8,371	8,372	▲ 1	▲ 0.0%
	計	198,912	197,403	1,509	0.8%

出典：経産省iP

		当年1月－7月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	6,046,997	6,335,465	▲ 288,468	▲ 4.6%
	商業用他	16,362,957	16,816,852	▲ 453,895	▲ 2.7%
	計	22,409,954	23,152,317	▲ 742,363	▲ 3.2%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年度
第3回業務委員会
資料№16-2

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年5月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年5月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、対前年同月比102.8%、調定数は、対前年同月比99.2%、平均販売量は、対前年同月比103.6%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,204（対前月より1地点群減少、対前年同月比99.8%）、1,798,240（対前月より75地点減少、対前年同月比99.5%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,314,944個（対前年同月比99.7%）で対前月333個の減少（対前月比100.0%）、調定数は、1,071,078件（対前年同月比99.2%）で対前月346件の減少（対前月比100.0%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,303,240個、調定数は、1,062,232件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、10,371,089㎥で、そのうち家庭用は、9,698,330㎥（構成比93.5%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年5月	2025年5月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000505	202505	北海道局	110.27	111.29	7.42	8.34	112.49
2025000505	202505	東北局	104.22	104.99	9.66	10.26	106.15
2025000505	202505	関東局	101.44	101.64	10.55	10.82	102.5
2025000505	202505	中部局	100.14	100.04	10.68	10.74	100.58
2025000505	202505	北陸支局	105.43	104.54	8.18	8.62	105.4
2025000505	202505	近畿局	101.17	101.13	9.55	9.82	102.89
2025000505	202505	中国局	102.29	102.29	9.07	9.34	103.03
2025000505	202505	四国局	99.94	100.04	8.02	8.09	100.87
2025000505	202505	九州局	102.88	102.74	8.31	8.59	103.38
2025000505	202505	沖縄局	118.87	118.69	5.46	6.39	117.03
2025000505	202505	全　国	102.61	102.78	9.34	9.68	103.64

ガス事業生産動態統計集計表(令和7年5月分) 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	345	591	2,018	657	269	968	590	356	1,193	217			7,204
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,374	151,363	518,392	176,548	57,902	204,559	134,964	72,646	304,151	36,341			1,798,240
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,051,226	7,053	7,058,279
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	1,539,031	1,866,112	6,518,652	2,175,076	468,409	2,071,088	1,215,195	674,359	3,145,113	385,881	20,040,646	18,270	20,058,916
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	0	0	46,847	0	0	0	0	0	0	0			46,847
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	9,118,901	19,542	9,138,443
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	281,246	3,913	285,159
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,351,282	9,694	7,360,976
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,743	111,879	368,528	126,497	36,554	152,537	91,602	56,927	227,358	35,615			1,303,240
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,470	0	0	0	0	0	0	0			3,470
		調定数	個	78,467	88,892	311,182	106,817	27,919	115,942	72,719	41,756	186,677	31,861			1,062,232
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,972	0	0	0	0	0	0	0			2,972
	商業用	取付数	個	1,512	1,261	3,552	748	278	714	265	133	659	20			9,142
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
		調定数	個	864	923	2,775	610	183	563	210	71	582	14			6,795
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
	その他	取付数	個	480	312	403	217	72	239	258	23	543	15			2,562
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	387	264	339	148	48	184	212	17	442	10			2,051
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,735	113,452	372,483	127,462	36,904	153,490	92,125	57,083	228,560	35,650			1,314,944
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,487	0	0	0	0	0	0	0			3,487
		調定数	個	79,718	90,079	314,296	107,575	28,150	116,689	73,141	41,844	187,701	31,885			1,071,078
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,989	0	0	0	0	0	0	0			2,989
生産量 (販売量)	家庭用		㎥	567,864	817,044	3,134,458	1,108,409	218,797	1,099,102	663,872	333,868	1,552,459	202,457			9,698,330
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	0	0	55,673	0	0	0	0	0	0	0			55,673
	商業用		㎥	43,967	80,395	216,693	38,926	12,512	29,449	9,842	2,610	27,359	1,240			462,993
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	0	0	888	0	0	0	0	0	0	0			888
	その他		㎥	53,267	26,513	48,216	8,342	11,473	17,623	9,459	2,196	32,654	23			209,766
	(うち圧縮天然ガス)		㎥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		㎥	665,098	923,952	3,399,367	1,155,677	242,782	1,146,174	683,173	338,674	1,612,472	203,720			10,371,089
	(うち圧縮天然)		㎥	0	0	56,561	0	0	0	0	0	0	0			56,561

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年6月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年6月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、対前年同月比100.8%、調定数は、対前年同月比99.2%、平均販売量は、対前年同月比101.7%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,202（対前月より2地点群減少、対前年同月比99.8%）、1,797,785（対前月より455地点減少、対前年同月比99.5%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,314,438個（対前年同月比99.7%）で対前月506個の減少（対前月比100.0%）、調定数は、1,068,676件（対前年同月比99.2%）で対前月2,402件の減少（対前月比99.8%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,302,735個、調定数は、1,059,882件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、8,515,812㎥で、そのうち家庭用は、7,884,550㎥（構成比92.6%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年6月	2025年6月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000606	202506	北海道局	99.8	99.44	5.66	5.69	100.49
2025000606	202506	東北局	101.39	102.9	8.67	9.03	104.19
2025000606	202506	関東局	102.05	102.11	8.85	9.12	103.05
2025000606	202506	中部局	98.89	98.98	8.38	8.34	99.56
2025000606	202506	北陸支局	96.25	97.54	7.27	7.17	98.64
2025000606	202506	近畿局	97.81	97.97	8.16	8.15	99.87
2025000606	202506	中国局	99.73	99.66	7.5	7.53	100.46
2025000606	202506	四国局	98.87	99.02	6.89	6.88	99.91
2025000606	202506	九州局	101.76	101.71	7.01	7.17	102.35
2025000606	202506	沖縄局	102.69	102.67	5.24	5.19	99
2025000606	202506	全　国	100.6	100.8	7.84	7.97	101.65

ガス事業生産動態統計集計表(令和7年6月分) 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	345	591	2,018	657	269	967	588	356	1,194	217			7,202
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,389	151,364	518,486	176,548	57,902	204,038	134,786	72,620	304,311	36,341			1,797,785
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,954,669	9,694	6,964,363
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	1,044,186	1,577,311	5,415,678	1,637,822	362,755	1,644,650	956,297	503,334	2,537,797	299,626	15,960,827	18,629	15,979,456
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	42,961	0	0	0	0	0	0	0			42,961
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,538,463	22,410	7,560,873
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	302,651	1,252	303,903
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,048,505	7,165	7,055,670
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,713	111,855	368,369	126,487	36,543	152,325	91,458	56,898	227,475	35,612			1,302,735
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,472	0	0	0	0	0	0	0			3,472
		調定数	個	78,189	88,670	310,516	106,651	27,933	115,539	72,557	41,667	186,248	31,912			1,059,882
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,973	0	0	0	0	0	0	0			2,973
	商業用	取付数	個	1,512	1,262	3,551	753	278	715	263	133	657	20			9,144
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
		調定数	個	859	921	2,774	614	187	533	208	71	565	14			6,746
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
	その他	取付数	個	479	318	401	210	72	239	259	23	543	15			2,559
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	387	270	336	146	54	181	213	17	434	10			2,048
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,704	113,435	372,321	127,450	36,893	153,279	91,980	57,054	228,675	35,647			1,314,438
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,488	0	0	0	0	0	0	0			3,488
		調定数	個	79,435	89,861	313,626	107,411	28,174	116,253	72,978	41,755	187,247	31,936			1,068,676
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,989	0	0	0	0	0	0	0			2,989
生産量 (販売量)	家庭用		m^3	393,164	696,704	2,621,993	848,911	173,622	900,879	529,841	281,529	1,273,686	164,221			7,884,550
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	43,669	0	0	0	0	0	0	0			43,669
	商業用		m^3	30,863	76,391	189,060	37,757	12,785	27,700	8,927	2,465	25,417	1,123			412,488
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	835	0	0	0	0	0	0	0			835
	その他		m^3	28,036	38,522	50,078	9,043	15,736	19,142	10,937	3,421	43,540	319			218,774
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	452,063	811,617	2,861,131	895,711	202,143	947,721	549,705	287,415	1,342,643	165,663			8,515,812
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	44,504	0	0	0	0	0	0	0			44,504

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年7月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年7月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、対前年同月比93.4%、調定数は、対前年同月比99.1%、平均販売量は、対前年同月比94.2%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,195（対前月より7地点群減少、対前年同月比99.7%）、1,796,667（対前月より1,118地点減少、対前年同月比99.6%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,313,364個（対前年同月比99.6%）で対前月1,074個の減少（対前月比99.9%）、調定数は、1,067,436件（対前年同月比99.1%）で対前月1,240件の減少（対前月比99.9%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,301,673個、調定数は、1,058,604件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、6,237,458㎥で、そのうち家庭用は、5,567,204㎥（構成比89.3%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年7月	2025年7月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000707	202507	北海道局	93.51	96.98	4.65	4.55	98.02
2025000707	202507	東北局	94.56	97.38	7.11	7.01	98.56
2025000707	202507	関東局	91.73	92.61	6.98	6.52	93.35
2025000707	202507	中部局	88.16	88.69	6.71	5.98	89.17
2025000707	202507	北陸支局	104.58	105.64	5.61	5.98	106.54
2025000707	202507	近畿局	92.56	92.8	6.07	5.73	94.31
2025000707	202507	中国局	91.16	92.13	5.79	5.39	93.11
2025000707	202507	四国局	88.91	89.36	5.48	4.94	90.22
2025000707	202507	九州局	92.99	93.59	5.66	5.32	94.16
2025000707	202507	沖縄局	100.2	100.15	4.18	4.22	101.07
2025000707	202507	全　国	92.29	93.39	6.2	5.84	94.24

ガス事業生産動態統計集計表（令和7年7月分） 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	346	591	2,016	657	269	962	587	356	1,194	217			7,195
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,442	151,365	518,239	176,549	57,902	203,137	134,666	72,620	304,406	36,341			1,796,667
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,844,224	7,165	6,851,389
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	853,421	1,333,986	4,228,927	1,282,369	347,080	1,234,343	744,956	442,987	2,031,048	265,573	12,742,564	22,126	12,764,690
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	34,295	0	0	0	0	0	0	0			34,295
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	5,873,915	22,052	5,895,967
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	189,563	3,551	193,114
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,155,866	9,340	7,165,206
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,707	111,771	368,109	126,473	36,542	152,004	91,315	56,874	227,265	35,613			1,301,673
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,473	0	0	0	0	0	0	0			3,473
		調定数	個	78,137	88,604	310,416	106,580	27,976	115,559	72,308	41,593	186,243	31,188			1,058,604
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,997	0	0	0	0	0	0	0			2,997
	商業用	取付数	個	1,511	1,268	3,549	753	278	715	263	133	656	20			9,146
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
		調定数	個	853	923	2,769	616	187	562	208	69	576	14			6,777
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0			16
	その他	取付数	個	479	314	401	202	72	239	257	23	543	15			2,545
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	388	264	335	147	55	182	211	18	445	10			2,055
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,697	113,353	372,059	127,428	36,892	152,958	91,835	57,030	228,464	35,648			1,313,364
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,489	0	0	0	0	0	0	0			3,489
		調定数	個	79,378	89,791	313,520	107,343	28,218	116,303	72,727	41,680	187,264	31,212			1,067,436
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,013	0	0	0	0	0	0	0			3,013
生産量	家庭用		m^3	292,717	495,465	1,820,411	593,764	139,034	621,829	361,327	198,760	913,764	130,133			5,567,204
(販売量)	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	34,041	0	0	0	0	0	0	0			34,041
	商業用		m^3	39,213	89,219	166,076	35,329	12,198	22,859	8,853	2,128	25,557	1,079			402,511
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	1,468	0	0	0	0	0	0	0			1,468
	その他		m^3	29,605	44,765	56,641	12,722	17,569	21,293	21,585	5,175	57,854	534			267,743
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	361,535	629,449	2,043,128	641,815	168,801	665,981	391,765	206,063	997,175	131,746			6,237,458
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	35,509	0	0	0	0	0	0	0			35,509